

# HP Network Node Manager iソフトウェア

Windows®、Linux、HP-UX、およびSolarisオペレーティングシステム向け

ソフトウェアバージョン: 9.20

---

Online Help: Using the Console

ドキュメントリリース日: 2012年5月

ソフトウェアリリース日: 2012年5月



## ご注意

### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

#### Oracle Technology製プログラムに関する権利の制限

米国の国防省連邦調達規則 (DoD FAR) 補則に従い提供されるプログラムは「商用コンピュータソフトウェア」であり、該当するプログラムならびに付属ドキュメントの使用、複製、および開示には、関連するOracleライセンス契約にて規定されているライセンスの制約が適用されます。FARに従い提供されるその他のプログラムは「制限付きコンピュータソフトウェア」であり、該当するプログラムならびに付属ドキュメントの使用、複製、および開示には、FAR 52.227-19「商用コンピュータソフトウェアの制限付き権利」(1987年6月)にて規定されている制約が適用されます。Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

Oracleライセンス契約は、NNMi製品DVDのlicense-agreementsディレクトリに全文が収録されています。

### 著作権について

© Copyright 2008–2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe®は、Adobe Systems の商標です。

HP 9000コンピュータ上のHP-UXリリース10.20以降、および、HP-UXリリース11.00以降 (32ビットおよび64ビット両方の環境) は、すべて、オーパングループのUNIX 95商標の製品です。

Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国内での登録商標です。

OracleおよびJavaは、Oracleならびに同社の関連会社の登録商標です。

UNIX®は、オーパングループの登録商標です。

### 承認

この製品にはApache Software Foundationによって開発されたソフトウェアが含まれています。  
(<http://www.apache.org>)

この製品には、Indiana University Extreme! Labによって開発されたソフトウェアが含まれています。  
(<http://www.extreme.indiana.edu>)

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかの確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>(英語サイト)

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

## サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com>

HPソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDの登録は、次の場所で行います。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>(英語サイト)

アクセスレベルに関する詳細は、以下のWebサイトにアクセスしてください。

[http://support.openview.hp.com/access\\_level.jsp](http://support.openview.hp.com/access_level.jsp)

## PDF版のオンラインヘルプに関する免責事項

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。

**注:** トピックによっては、書式上の問題により正しくPDFに変換されていない場合があります。また、PDF版では完全に削除されているオンラインヘルプの要素もあります。このような問題のあるトピックについては、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

---

## 目次

Online Help: Using the Console .....	1
目次 .....	6
NNMiコンソールについて .....	9
NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する .....	12
Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する .....	13
NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する .....	13
Microsoft Internet Explorerタイトルバーの設定 .....	14
コンソールのナビゲーション .....	15
ビューの表示 .....	15
オブジェクトに関する詳細にアクセスする(フォームおよび[分析] ペイン) .....	17
アクションを起動する .....	19
[ツール] メニューを使用する .....	20
ヘルプにアクセスする .....	21
ヘルプトピックの検索 .....	22
お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける .....	23
ワークスペースについて .....	25
[分析] ペインについて .....	30
ビューツールバーの使用 .....	33
フォームツールバーの使用 .....	43
ビューを使用してデータを表示する .....	45
複数オブジェクトを選択する .....	46
ビューをリフレッシュする .....	46
テーブルビューを使用する .....	47
列のサイズを変更する .....	47
列を非表示にする .....	48
非表示の列を表示する .....	48
テーブルのすべての行を選択する .....	48

---

列データをソートする .....	49
ビューの定期的なリフレッシュを停止する .....	50
テーブルビューをフィルターリングする .....	51
ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルターリングする .....	53
ノードグループおよびインタフェースグループについて .....	54
期間でフィルターリングする (インシデントビューのみ) .....	55
属性値でフィルターリングする .....	56
フィルター値を選択する .....	56
値を指定するためのフィルターを作成する .....	57
NULL値のフィルターを使用する .....	60
テーブルビューフィルターを変更する .....	61
フィルターを削除する .....	64
デフォルトフィルターを復元する .....	65
現在のフィルター設定を表示する .....	65
テーブルデフォルトを復元する .....	66
テーブル情報をエクスポートする .....	67
ビュー設定を制限する .....	68
マップビューを使用する .....	69
マップを移動する .....	70
マップレイアウトを変更する .....	70
ズームの倍率を調整する .....	71
マップをパン表示する .....	71
マップ内でノードを検索する .....	72
マップのノードステータスをリフレッシュする .....	72
マップのツールのヒント情報を制御する .....	73
マップについて .....	73
ステータスの色について .....	73
オブジェクトのステータスの色 .....	74
アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced) .....	76
マップの記号について .....	78
ノードグループマップオブジェクト .....	82
レイヤー2の近隣接続ビューマップオブジェクト .....	83

レイヤー3の近隣接続ビューマップオブジェクト .....	85
パスビューマップオブジェクト .....	86
NNMiが提供するマップにアクセスする .....	87
<b>NNMiが提供するビュー .....</b>	<b>90</b>
<b>オブジェクトの使用 .....</b>	<b>102</b>
関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットへアクセスする .....	103
関連オブジェクトに関するすべての情報へアクセスする .....	103
オブジェクトの属性値の変更 .....	104
<b>アクションを使用してタスクを実行 .....</b>	<b>106</b>
HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Softwareのアクション .....	110
<b>NNMiに関する情報を表示する .....</b>	<b>111</b>
NNMiのシステム情報の表示 .....	111
NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示 .....	113
<b>用語集 .....</b>	<b>114</b>



# 第1章

## NNMiコンソールについて

HP Network Node Manager (NNMi) コンソールは、NNMiアプリケーション用のグラフィカルユーザーインターフェイスです。コンソールの主要な機能を示したのが以下の図、および表です。

The screenshot shows the HP Network Node Manager (NNMi) console. The interface is in Japanese. The top bar includes the HP logo, the title 'Network Node Manager', and the user name 'ユーザー名: s'. Below the title bar is a menu bar with 'ファイル', 'ビュー', 'ツール', 'アクション', and 'ヘルプ'. The left sidebar contains several main categories: 'インシデントの管理', 'トポロジマップ', 'モニタリング', 'トラブルシューティング', and 'インベントリ'. Under 'インベントリ', there is a tree view with 'ノード' selected, and sub-items like 'インタフェース', 'IPアドレス', 'SNMPエージェント', 'IPサブネット', 'VLAN', 'カード', 'ポート', 'ノードコンポーネント', and 'レイヤー2の接続'. Below this is another section with '管理モード', 'インシデントの参照', '統合モジュールの設定', and '設定'. The main content area is titled 'ノード ノード' and shows details for a node with IP 16.78.63.212. The '基本' (Basic) tab is active, showing fields for '名前', 'ホスト名', '管理アドレス', 'ステータス', 'ノード管理モード', and 'デバイスのプロファイル'. The 'ステータス' is '危険域' (Danger Zone) and 'ノード管理モード' is '管理対象'. Below this is the 'SNMPエージェントの状態' (SNMP Agent Status) section, which says 'エージェントが有効です' (Agent is active). The '分析' (Analysis) section shows a summary for the node and a detailed incident log. The incident log shows a 'NodeDown' event on 11/06/26 at 18:36, with the cause being 'NodeDown が原因で'. The status log shows '合計:1 開く:1 過去 1時間:0 過去 1日:0 最初:11/06/26 18:36 11/06/26 18:36 最後:11/06/26 18:36 11/06/26 18:36'. The '詳細' (Details) section shows '結果 (2)' (Results (2)) and a list of properties: 'NodeDown AllUnresp', '管理モード 管理対象', 'デバイスのプロファイル <No SNMP>', 'デバイスのカテゴリ 其他', 'IPアドレス (1) 16.78.63.212', 'インタフェース (1) Pseudo Inter', and 'ステータスの最終変更日時 2011/06/26'. The bottom status bar shows 'ページが表示されました' (Page displayed) and 'インターネット | 保護モード: 無効' (Internet | Protection mode: Disabled).

NNMiコンソールを使用する際には、以下のことに注意してください。

- ブラウザーにMicrosoft Internet Explorerを使用している場合は、複数のNNMiセッションにサインインできません。ブラウザセッションごとに別々のユーザー名を使用してください。

- ブラウザーにMozilla Firefoxを使用している場合は、各クライアントシステムの単一のNNMiセッションのみにサインインできます。
- NNMiコンソールのURLをブックマークできます。
- NNMiは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のような他のアプリケーションと統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないワークスペース、ビュー、またはタブなどのユーザーインターフェイス項目が表示される場合があります。説明にない追加のユーザーインターフェイス項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。
- デフォルトで、NNMiでは、追加ライセンスの必要なメニュー、ビュー、およびワークスペースが表示されます。必要なライセンスを持っていない場合、NNMiはこれらの機能に未ライセンスまたは評価というラベルを付けます。評価は、ライセンスタイプがInstant-Onまたは一時的であることを意味します。

注: NNMi管理者は、未ライセンスや評価の機能を非表示にするようにユーザーインターフェイスを設定できます。

### Network Node Managerコンソールの機能

機能	説明
1. タイトルバー	実行中のアプリケーションを識別するのに使用されます。右上の隅には、コンソールウィンドウを閉じたりサイズ変更したりするための標準ブラウザボタンがあります。
2. メインメニュー	コンソール内で利用できるコマンドのメニューです。コマンドのカテゴリには、ファイル、ビュー、ツール、アクション、およびヘルプが含まれます。 <a href="#">「アクションを起動する」(19ページ)</a> および <a href="#">「アクションを使用してタスクを実行」(106ページ)</a> を参照してください。NNMiについて理解するために提供されるツールの詳細は、 <a href="#">「ヘルプにアクセスする」(21ページ)</a> および <a href="#">「ヘルプトピックの検索」(22ページ)</a> も参照してください。
3. ワークスペースのナビゲーションパネル	ワークスペースおよびビューの間をナビゲートできるようにします。 <a href="#">「ビューの表示」(15ページ)</a> および <a href="#">「ワークスペースについて」(25ページ)</a> を参照してください。
4. ワークスペース	現在の関心の対象および仕事の範囲を表すコンテキストです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化する方法を提供します。ワークスペースごとに複数のビューが使用可能です。 <a href="#">「NNMiが提供するビュー」(90ページ)</a> を参照してください。
5. コンソールメッセージ	NNMi自体で発生している問題に対する警告です。

## Network Node Managerコンソールの機能, 続けて


機能	説明
ジ バー	
6. ユー ザー、 ロー ル、お よび サイン アウト 用の ボタン	現在のユーザー名とロール割り当てです。ロール割り当てによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。
7階 層リ ンク の軌 跡	ワークスペースのナビゲーションパネルで選択したビューのタイトルと階層リンクの軌跡です。各ビューからオブジェクトグループへアクセスできます。オブジェクトをダブルクリックしてそのオブジェクトのフォームを表示することで、各オブジェクトの詳細が利用できます。 <a href="#">「ビューを使用してデータを表示する」(45ページ)</a> 、 <a href="#">「オブジェクトに関する詳細にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)」(17ページ)</a> 、および <a href="#">「オブジェクトの使用」(102ページ)</a> を参照してください。階層リンクの軌跡はビュータイトルバーに表示されるため、アクセスしたビューやフォームへと簡単に移動できます。
8 ビュー ツール バー	現在のビューまたはフォームで利用可能なツールです。これらのツールを使用すると、以前ビューに適用したデータフィルターの削除、非表示にした列の復元、およびビュー内でオブジェクトの操作を行うことができます。詳細は、 <a href="#">「ビューツールバーの使用」(33ページ)</a> を参照してください。  ドロップダウンのセレクターを使用すると、表示されたデータに適用される、工場で設定されたフィルターの値を変更できます。 <a href="#">「テーブルビューをフィルターリングする」(51ページ)</a> を参照してください。
9[コ ンテ ンツ] ペ イン	現在選択されているビューまたはフォームが表示されます。
10ス テータ ス バー	テーブルビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>合計。このテーブルの基準に一致するデータベース内の現在のオブジェクト数 (各行に1つのオブジェクトに関するデータが表示されます)。</li> </ul> <p><b>注:</b> 制限値を表示することもできます。これは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)ソフトウェアが現在のビューに制限値を設定していることを示します。この数値は、現在のテーブルの基準に一致するオブジェクト数が許可された行数を超える場合に表示されます。NNM iSPIソフトウェアの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p><b>ヒント:</b> 表示するオブジェクトの数を減らし、関心のあるオブジェクトのみを表示する</p>

## Network Node Managerコンソールの機能, 続けて

機能	説明
	<p>には、フィルターを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択済み: テーブル内で選択されている行の数を示します。</li> <li>• フィルター: 現在表示されているデータが利用可能なオブジェクトのフィルターリングされたサブセットであることを示します。<a href="#">「テーブルビューをフィルターリングする」(51ページ)</a>を参照してください。</li> <li>• 自動リフレッシュ: 現在のリフレッシュ間隔を示します。<a href="#">「ビューをリフレッシュする」(46ページ)</a>を参照してください。</li> </ul> <p>マップビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マップに表示できるノードの数</li> <li>• 自動ステータス更新: 更新ステータスオプションの自動更新レートです。<a href="#">「マップのノードステータスをリフレッシュする」(72ページ)</a>を参照してください。マップデータのその他の状態をリフレッシュする(ノードの配置、追加されたノード、および削除されたノードを変更するには、<a href="#">「ビューをリフレッシュする」(46ページ)</a>を参照してください。</li> </ul> <p><b>注:</b> 検出の初期進行状態 マップは、ステータスとトポロジの両方を更新する、自動完全最新表示のリフレッシュレートを示します。</p> <p>テーブルビューとマップビューの両方で、ステータスバーにはビューが最後に更新された時刻を示す最終更新時刻が表示されます。</p>
11 [分析] ペイン	<p>[コンテンツ] ペインで選択したオブジェクトの詳細情報が表示されます。詳細情報の例には、インシデントのソースノードおよびソースオブジェクトに関する詳細や、ノードのインタフェースおよびIPアドレスに関する情報などがあります。</p> <p><b>注:</b> このペインは、オブジェクトを選択するまで空白のままになります。</p>

## NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のビューまたはフォームの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のFirefoxウィンドウの新しいタブで要求に応答するようにMozilla Firefoxを設定できます。

**NNMiリンクに対するMozilla Firefoxの応答方法を設定するには、次の手順を実行します。**

1. Mozilla Firefoxブラウザウィンドウを開きます。
2. URLフィールドにabout:configと入力し、[ENTER]を押します。
3. 表示されているフォームの上部にある[フィルタ]フィールドでnewwindowと入力します。関連する属性のリストが表示されます。

4. `browser.link.open_newwindow`をダブルクリックします。
5. [整数値を入力してください] ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
  - 1 = 現在のFirefoxウィンドウ/タブを置き換えます。
  - 2 = 新しいFirefoxウィンドウを開きます。
  - 3 = 現在のFirefoxウィンドウ内で新しいタブを開きます。
6. [OK] をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. `browser.link.open_newwindow.restriction`をダブルクリックします。
8. [整数値を入力してください] ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
  - 0 = `browser.link.open_newwindow`の設定を使用します。
  - 1 = `browser.link.open_newwindow`の設定を無視します。
  - 2 = URLに他のウィンドウの指示がない限り、`browser.link.open_newwindow`の設定を使用します。
9. [OK] をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

#### 関連トピック

[「NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する」\(13ページ\)](#)

## Mozilla Firefoxのタイムアウト 間隔を設定する


Mozilla Firefoxブラウザを使用しており、タイムアウトの問題 (たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる) が起きる場合は、次のようにMozilla Firefoxのタイムアウト値をリセットします。

1. Mozilla Firefoxのアドレスバーに、`about:config`と入力します。
2. スクロールダウンリストから、`dom.max_script_run_time`エントリーを選択します。
3. 表示された値を増やします。たとえば、0 (ゼロ) を入力すると、タイムアウトの値が無限に設定されます。

## NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する

**注:** Internet Explorer 8とInternet Explorerセキュリティ強化の構成を使用している場合、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「付録「推奨設定変更」」を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のフォームまたはビューの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のExplorerウィンドウの新しいタブで要求に応答するようにMicrosoft Internet Explorerを設定できます。

NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft Internet Explorerブラウザから、[ツール] → [インターネットオプション] を選択します。
2. [全般] タブを選択します。
3. [タブ] セクションで、[設定] をクリックします。
4. [タブブラウザの設定] ダイアログで、[ポップアップの発生時] という名前のラジオボックスのグループに移動します。
5. 以下の選択を行います。
  - Internet Explorerの動作を設定します。
  - 常に新しいウィンドウでポップアップを開く
  - 常に新しいタブでポップアップを開く
6. [OK] をクリックして、設定を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. [OK] をクリックして、[インターネットオプション] ダイアログボックスを閉じて、ブラウザウィンドウに戻ります。

#### 関連トピック

[「NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する」\(12ページ\)](#)

## Microsoft Internet Explorerタイトルバーの設定

Internet Explorerを使用するとき、ブラウザの設定は、NNMiビューまたはフォームの名前がタイトルバーに表示されるかどうかを決めます。

Microsoft Internet Explorerを設定するには、ビューまたはフォームのタイトルを表示します。

1. Internet Explorerブラウザを開き、[ツール] メニューをクリックします。
2. [インターネットオプション] を選択します。
3. [セキュリティ] タブ、[信頼済みサイト]、[レベルのカスタマイズ]、[その他] セクションに移動します。
4. [Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する] 属性を無効にします。

## 第2章

---

### コンソールのナビゲーション

コンソールのメインウィンドウは、ナビゲーションの開始地点となります。

ビューは、テーブルまたはマップで表現される関連オブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関する既知の詳細すべてを提供します。

メインウィンドウからは、次のタスクを実行できます。

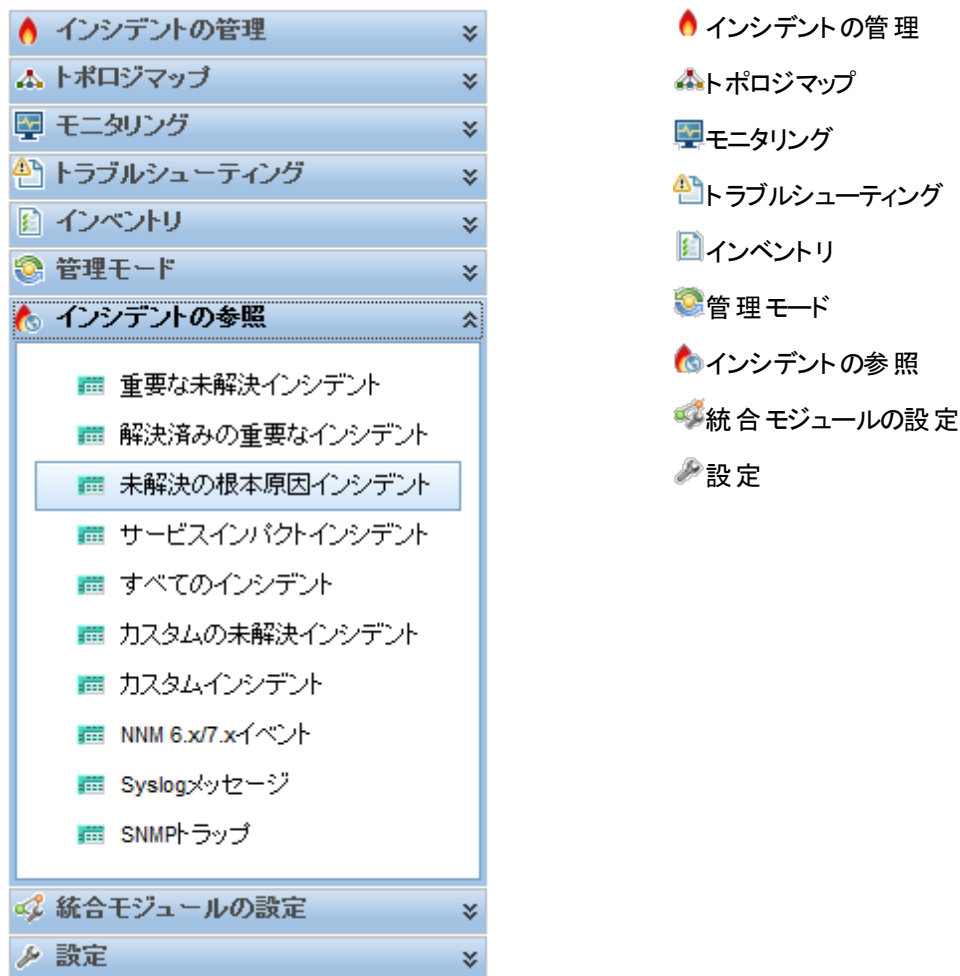
- [「ビューの表示」\(15ページ\)](#)
- [「オブジェクトに関する詳細にアクセスする\(フォームおよび\[分析\]ペイン\)」\(17ページ\)](#)
- [「アクションを起動する」\(19ページ\)](#)
- [「\[ツール\]メニューを使用する」\(20ページ\)](#)
- [「ヘルプにアクセスする」\(21ページ\)](#)
- [「ヘルプトピックの検索」\(22ページ\)](#)
- [「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」\(23ページ\)](#)

### ビューの表示

ビューには、ネットワーク内のオブジェクトに関する情報が含まれます。ビューは、テーブル(オブジェクトのリスト)またはアイコンが備わったマップです。たとえば、インシデントの管理を支援するため、NNMiには、[重要な未解決インシデント]と[自分の未解決インシデント]のテーブルビューが用意されています。


ビューを表示するには、次の操作を行います。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルでワークスペース名をクリックし、ビューのグループを表示します。NNMiで提供されるワークスペースを以下に示します。



## 2. 必要なビューを選択します。

ワークスペースのナビゲーションパネルで別のビューを選択すると、選択したビューによって現在のビューが置換されます。

 [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンでビューを開くと、そのビューが新しいウィンドウに表示されます。

ビューに複数の情報ページがある場合は、スクロールバーまたはページコントロールを使用してビューの各ページをナビゲートします。ページコントロールの使用の詳細は、[「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)を参照してください。

コンソールの **[アクション]** メニューからアクセス可能なビューの詳細は、[「アクションを使用してタスクを実行」\(106ページ\)](#)を参照してください。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューにアクセスできます。





## オブジェクトに関する詳細にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)

どのオブジェクトの詳細にもアクセスできます。たとえば、現在のビューで、問題があると報告されたノードまたはインタフェースの詳細を知ることができます。ノードフォームまたはインタフェースフォームから、関連するインシデントにアクセスできます。


すべてのオブジェクト属性および関連オブジェクトにアクセスするには、フォームを表示します。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク (\*) が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

- [ツール] → [ノードの検索] を使用してフォームを開くには  
詳細は、[「\[ツール\] メニューを使用する」\(20ページ\)](#)を参照してください。
- テーブルビューでフォームを開くには  
オブジェクトを表す行をダブルクリックします。  
オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、[「オブジェクトの使用」\(102ページ\)](#)を参照してください。
- マップビューでフォームを開くには  
以下のいずれかを行います。
  - マップオブジェクトを選択します。次に、ツールバーの  [開く] アイコンをクリックします。
  - マップオブジェクトをダブルクリックします。


**注:** マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループの各ノードを含むマップで置換されます。子ノードグループフォームにアクセスするには、ツールバーの  [開く] アイコンを使用します。

オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、[「オブジェクトの使用」\(102ページ\)](#)を参照してください。

- テーブルビューで複数のフォームを開くには  
目的のオブジェクトを表す各行を [Ctrl] キーを押しながらクリックします。  
オブジェクトの詳細を含む、各オブジェクトのフォームが表示されます。詳細については、[「オブジェクトの使用」\(102ページ\)](#)を参照してください。
- マップビューで複数のフォームを開くには
  - a. [Ctrl] キーを押しながら目的の各オブジェクトをクリックして選択します。
  - b. ツールバーの  [開く] アイコンをクリックします。  
オブジェクトの詳細を含む、各オブジェクトのフォームが表示されます。詳細については、[「オブジェクトの使用」\(102ページ\)](#)を参照してください。


[分析] ペインを使用してオブジェクトに関する詳細にアクセスする

テーブルビューから [分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 [インベントリ])。

2. 目的のオブジェクトを含むビューを選択します (たとえば、[ノード] ビュー)。
3. 目的のオブジェクトを含む行を選択します。
4. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。


マップビューから [分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 [トポロジマップ])。
2. マップビューを選択します (たとえば、**ルーター**)。

**注:** マップで開く前に開始ノードが必要な場合、使用する開始ノードの名前またはIPアドレスを入力します。

3. 目的のマップオブジェクトを選択します。
4. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。

[分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。

- フォームのツールバーの  [分析の表示] を選択すると、現在のフォームのトップレベルのオブジェクト情報が [分析] ペインに表示されます。



**注:**  [分析の表示] を選択すると、常にトップレベルのオブジェクトの情報が表示されます。


- フォームのタブのテーブルの行をクリックすると、選択したオブジェクトの詳細情報が [分析] ペインに表示されます。



NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。フォームについての詳細は、[「オブジェクトの使用」](#)を参照してください。

次のことに注意してください。

- 次の情報は、画面の一番下に表示されます。:

アナリシス		=開く
アナリシス - 要約 - <選択したオブジェクト>		=閉じる

必要に応じて  展開ボタンをクリックして、[分析] ペインを開きます。

- タイトルバーの上にマウスカーソルを置くと  記号が表示されますので、必要に応じてサイズを調整します。
- オブジェクトを選択するまで、[分析] ペインは空白のままです。
- 複数のオブジェクトを選択したり、選択をクリアしたりすると、NNMiは [分析] ペインの内容を保持します。
- ビューを変更すると、NNMiは [分析] ペインの内容をクリアします。
- [分析] ペインの  [リフレッシュ] アイコンをクリックすると、表示されている情報のサブセットがリフレッシュ (更新) されます。
- フォームを保存すると、NNMiは自動的に [分析] ペイン全体の内容をリフレッシュします。
- 「ゲージ」タブには、State PollerとCustom Poller SNMPのデータを表示するためのリアルタイムのSNMPゲージが表示されます。

- これらのゲージはノード、インターフェース、カスタムノード収集、およびCPU、メモリー、バッファ、バックプレーンのノードコンポーネントのタイプの情報を表示します。
- NNMiは、ノードまたはインターフェースでサポートする重要な各MIBオブジェクト識別子 (OID) のゲージを最大で24個 (デフォルト) 表示します。

**ヒント:** NNMi管理者は、`nms-ui.properties`ファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

- 各ゲージは、デフォルトのリフレッシュレート (15秒) を使用して現在のOID値を表示します (NNMi管理者は、`nms-ui.properties`ファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます)。
- 表示される値の範囲は、NNMiで発生したOIDの最大値と最小値を示します。
- パーcentage値を追跡するゲージの場合、NNMiは赤い線を使用してOID値が100パーセント近くになっている場所を示します。
- モニタリングしきい値を分析するために使用されるOIDと[分析] ペインに表示されるOIDは1対1で対応していません。たとえば、[分析] ペインに表示されるCiscoメモリープールのOID値と、モニタリング対象属性のメモリー使用率のしきい値に達しているまたはこのしきい値を超えているかどうかを計算するための値は一致しません。これは、一部のしきい値メトリクスでは1つのOIDで許容される計算よりも複雑な計算を要するためです。

**ヒント:** ゲージのラベルの値が重複して見える場合、そのラベルにマウスを重ねて、より完全なヒント名を表示できます (NNMi管理者がゲージのタイトルをNNMiコンポーネント名からSNMP MIB変数名に変更する場合、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます)。

- 選択したメトリクスのSNMP線グラフを開始するには、各ゲージの下に表示されたアイコンをクリックします。
- ツールのヒントを選択し、コピーするには、ゲージをダブルクリックします。ツールのヒントを選択し、コピーできるテキストウィンドウが開きます。

## アクションを起動する

アクションを実行するには、[アクション] メニューからアクションを選択します。[アクション] メニューは、NNMiコンソールのメインメニューツールバー、および新規のウィンドウの中に開かれた任意のビューまたはフォームのメニューツールバーからアクセスできます。

**注:** 使用できるアクションは、ユーザーロールと選択したオブジェクトによって決まります。特定のオブジェクト向けに利用可能なアクションがない場合は、アクションメニューは空です。

- テーブルビューまたはマップビューからアクションを起動するには、次の手順を実行します。
  - a. ビューを表示させていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでビューを選択しま

す。


**ヒント:** 複数選択する場合は、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

- テーブルビューで、行を1回クリックします。
  - マップビューでは、目的のオブジェクトを1回クリックします。
- b. メニューツールバーの**[アクション]**メニューを選択します。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]**メニューにアクセスできます。

- c. 利用可能なアクションのリストから実行するアクションを選択します。
- **フォームからアクションを起動するには、以下を実行します。**
    - a. フォームをオープンしていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでアクセスするテーブルビューを選択します。
    - b. テーブルビューから、更新するオブジェクトインスタンス(たとえば、ノード)が示されている行をダブルクリックします。
    - c. メニューツールバーから**[アクション]**を選択して、目的のアクションを選択します。たとえば、**[進行中]**を選択して、選択したインシデントのライフサイクル状態を**[進行中]**に変更します。

アクションを起動するには、以下のことに注意してください。

- フォーム上で属性を変更するアクションを実行する場合は、そのアクションを即時に効果を及ぼします。  **[保存]**を選択する必要はありません。
- アクションの中には、新しいウィンドウを開くものがあります。
- 管理者は、**[アクション]**メニューでメニューの選択肢を追加できます。これらのアクション項目は、NNMiヘルプには記載されていません。
- アクションに対して、誤った数のオブジェクトを選択した場合は、行内で2回クリックしてすべてのオブジェクトを選択解除できます(最初のクリックでオブジェクトが選択され、2回目のクリックでオブジェクトが選択解除されます)。

## 関連トピック

[「アクションを使用してタスクを実行」\(106ページ\)](#)

## [ツール] メニューを使用する

いくつかのツールは、**[ツール]**メニューの下に用意されています。利用可能なツールは、ユーザーの割り当てられたロールに応じて変化します。以下の表にリストされているツールは、レベル2のオペレーターが利用可能です。

### NNMiツールメニューオプション

ツール	説明
ノードの検索	ユーザーが指定した文字列(大文字と小文字を区別)でNNMiデータベースを検索します。NNMiは関連付けられたノードを検出します。検索にマッチするノードが複数あった場合、NNMiでは最初にマッチしたノードのフォームが表示されます。NNMiは、

## NNMiツールメニューオプション, 続けて

ツール	説明
	照合のために以下の属性をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>名前</li> <li>ホスト名 (完全修飾)</li> <li>IPアドレス</li> <li>MIB-II sysName</li> </ul>
接続されているスイッチポートの検索	選択したノードの接続先のスイッチポートを識別します。
MIBブラウザ	ネットワーク環境内の特定のノードに対して発行された、NNMiのSNMP要求に対する応答を、インターネットMIB (管理情報ベース) ツリー内のMIB OID (オブジェクト識別子) から順番に表示します。
NNMiステータス	NNMiの各プロセスおよびサービスの状態を表すリストを表示します。NNMiが適切に機能している場合は、各プロセスおよびサービスが実行中である必要があります。実行していないものがある場合は、NNMi管理者に連絡してください。
デフォルトのビュー設定をすべて復元	ビューのカスタマイズをすべて削除し、すべてのビューをデフォルト設定に戻します。詳細は、 <a href="#">「テーブルデフォルトを復元する」(66ページ)</a> を参照してください。
ステータス分布グラフ	ノード、インタフェース、IPアドレスのステータス分布情報を時間の経過と共に表示する積み上げ面グラフを設定することにより、ネットワーク全体のヘルスを表示します。
Visioエクスポート (NNMiSPI NET)	後で使用するために、NNMiに表示されているトポロジマップをVisioドキュメントにエクスポートします。

## ヘルプにアクセスする

注: [F1] キーを押しても、コンテキストヘルプを利用できません。代わりに、NNMiヘルプメニューを使用してください。

ゲストユーザーロールを持っている場合は、[ヘルプ] → [コンソールの使用] にあるトピックから開始します。各ビューに関する詳細については、[ヘルプ] → [オペレーター用のヘルプ] からアクセスできます。フォームに関する詳細を参照する必要がある場合は、フォーム内の [ヘルプ] > [<名前>フォームの使用法] を使用してください。

オペレーターの場合、[ヘルプ] → [オペレーター用のヘルプ] にタスク情報が提供されています。管理者の場合、[下の表](#) で説明しているすべてのリソースが利用可能です。

ヘルプにアクセスするには、次の操作を行います。

1. NNMiコンソールのメインメニューから [ヘルプ] を選択します。
2. ヘルプから、以下の表で説明しているすべての情報にアクセスできます。

### [ヘルプ] → リンク

ヘルプリンク	説明
<名前>フォームの使用法	現在のフォームのコンテキストヘルプです。
コンソールの使用	NNMiコンソールの使い方について説明します。コンソール内部での移動法、NNMiに備わっているフォームとビューのアクセス法および使い方などです。
オペレーター用のヘルプ	ネットワークのモニタリングとトラブルシューティングに役立つ、ビュー、フォーム、追加のNNMi機能の使い方について説明します。
管理者用のヘルプ	NNMiの仕組み、およびニーズに合うようにNNMiを設定する方法について説明します。NNMi向けのさまざまなオブジェクトと設定を調整できる、[設定] ワークスペースの使い方について説明します。
ドキュメントライブラリ	リファレンスページ (コマンドラインツールの情報) やリリースノートなどへのアクセスを提供します。
HPソフトウェアサポートWebサイト	HPソフトウェアサポートのWebサイトにアクセスします。
システム情報	NNMiに関するヘルプ情報です。 <a href="#">「NNMiのシステム情報の表示」(111ページ)</a> を参照してください。
HP Network Node Manager i Softwareについて	現在のNNMiライセンス情報です (合計ライセンス容量の制限値と現在管理対象のノード数の対比)。 <a href="#">「NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示」(113ページ)</a> を参照してください。

### 関連トピック

[「ヘルプトピックの検索」\(22ページ\)](#)

[「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」\(23ページ\)](#)

## ヘルプトピックの検索

すべてのヘルプトピックの中から特定の情報を検索するには、次の操作を行います。

1. [ヘルプ] ウィンドウのナビゲーションペインで、[検索] タブをクリックします。
2. 検索文字列を入力します ([表](#) を参照)。
3. [検索] ボタンをクリックします。トピックの結果リストの順序は、ランキングの順序に基づいており、最も高いランキングのトピックがリストの最上位に表示されます。

## 変数の検索

説明	変数	例
1つ以上の単語を検索します。検索フィールドに複数の単語を入力した場合、OR演算子が仮定されます。		ノード インタフェース
フレーズを検索します。	" " (テキスト文字列を引用符で囲む)	「ナビゲーションページ」
特定の文字列の「いずれか」を検索します。	OR (大文字と小文字の区別なし)  (パイプ記号)	ノード or インタフェース or アドレス  「ノード名」 「インタフェースステータス」
2つ以上の特定の文字列を検索します。	AND (大文字と小文字の区別なし)  + (プラス記号) & (アンパサンド)	ノード And インタフェース And アドレス  「ノード名」+アドレス  「ノード名」&「インタフェース」
指定した内容を含まないすべてのトピックを検索します。	NOT (大文字と小文字の区別なし)  !(感嘆符)	not ノード  !ノード
ある文字列を含み、別の文字列を含まないすべてのトピックを検索します。	^(caret 記号)	ノード ^ インタフェース
上記の組み合わせです。	( ) 丸括弧	ノード and (名前 or ステータス)  ノード or vlan (!アドレス)

注: 返される結果では、大文字と小文字が区別されません。ただし、結果ランキングでは大文字と小文字が区別され、大文字または小文字が一致したほうに、より高いスコアが割り当てられます。そのため、「テンプレート」の検索とそれに続く「テンプレート」の検索は、同じ数のヘルプトピックを返しますが、トピックがリストされる順序は異なります。

## お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける

ヘルプシステムの中の [お気に入り] タブを開き、よく使用するヘルプトピックのお気に入りを設定します。

この機能を使用するには、以下のことに注意してください。

- この機能は、ご使用のWebブラウザーのお気に入りのオプションとは関係ありません。
- Webブラウザーのcookieを削除すると、ヘルプトピックのお気に入りリストは削除されます。



## 第3章

---

### ワークスペースについて

ワークスペースとは、関心の対象および仕事の範囲を表すビューの集まりのことです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化します。

ワークスペース名をクリックすると、ワークスペースに関連するビューがワークスペースのナビゲーションパネルの中のワークスペースの下に表示されます。ビューを選択すると、ビュー表示パネルに要求したデータが表示されます。ワークスペースのナビゲーションパネルおよびビュー表示パネルの詳細は、「[NNMiコンソールについて](#)」(9ページ) および「[ビューの表示](#)」(15ページ) を参照してください。

ワークスペース内のビューでは、表示されたオブジェクトタイプごとに関連する情報に簡単にアクセスできます。ビューに指定されたフィルターの基準に合う任意のタイプのオブジェクトをすべて表示します。

**注:** 一部のワークスペースはフォルダーの下に表示されます。フォルダーで利用できるワークスペースのリストにアクセスするには、フォルダー名の前にある+ (プラス記号) をクリックします。

NNMiには次のワークスペースが用意されています。


- 🔥 **インシデントの管理**  
🔥 **[インシデントの管理]** ワークスペースを使用して、ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、より迅速なアクションが必要とされることが多々あるインシデント ([ライフサイクル状態](#)が📄 **登録済み**、🔄 **進行中**、または✅ **完了**のインシデント) にアクセスします。[**キーインシデント**] ビューには、次の項目が含まれます。

- 相関処理特性が次のいずれかであるインシデントを含む、[重要な未解決インシデント]ビュー:

相 関 処 理 特 性	説明
重 複 削 除 ス ト リ ー ム の 相 関 処 理	[重複削除ストリームの相関処理] インシデントは、生成される重複削除インシデントの数を追跡します。この値は重複数属性としてキャプチャーされ、重複の相関処理インシデントに増分されます。
情 報	この相関処理特性は参考情報です。
なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。
レ ー ト ス ト リ ー ム の 相 関 処 理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。
根 本 原 因	問題の根本原因を報告するインシデントを示します。
サ ー ビ ス イ ン パ ク ト	<p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNMi iSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p>

相 関 処 理 特 性	説 明
スト リー ムの 相 関 処 理	NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。

- [未割り当ての重要な未解決インシデント] ビューには、割り当てられていないキーインシデントがすべて含まれます。
- [自分の未解決インシデント] ビューには、現在のユーザーに割り当てられているインシデントがすべて含まれます。

-  トポロジマップ

[トポロジマップ] ワークスペースには、ネットワークで作成されたすべてのトップレベルノードグループのノードグループマップに加え、ネットワークデバイスインフラストラクチャー、レイヤー3 (ルーター) とレイヤー2 (スイッチ) ネットワークのマップビューも含まれます。ノードグループの詳細は、「[ノードグループおよびインターフェースグループについて](#)」(54ページ)を参照してください。NNMi管理者、またはNNMi管理者によって割り当てられる役割は、このワークスペースにリストされるマップビューを変更できません。詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。

[トポロジマップ] ワークスペースには、レイヤー3ネットワークで最も高度に接続されているノードを含むマップを表示する、検出の初期進行状態マップまたはネットワーク概要マップも含まれます。

**注: 検出の初期進行状態マップ**には、最大100個のノードが表示されます。この最大値は変更できません。ネットワーク概要マップには、最大250個のノードがデフォルトで表示されます。NNMi管理者は、設定ファイルを使用して、この最大数を変更できます。NNMi管理者は、詳細について『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「[NNMiコンソール](#)」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

-  モニタリング

[モニタリング] ワークスペースには、ステータスが危険域または正常域以外のノード、インターフェース、IPアドレス、ルーター冗長グループ、およびノードグループをチェックするためのビューが含まれます。このワークスペースには、ノードコンポーネントの稼働状態、カスタムポーリング収集、およびカスタムポーリングインスタンスをチェックするためのビューも用意されています。

-  トラブルシューティング

[トラブルシューティング] ワークスペース内では、以下を含むさまざまなマップビューにアクセスできます。

- レイヤー2の近隣接続ビュー
- レイヤー3の近隣接続ビュー
- パスビュー
- ノードグループマップ


レイヤー2の近隣接続ビューマップには、レイヤー2ネットワーク接続が表示されます。レイヤー3の近隣接続ビューマップには、レイヤー3ネットワーク接続が表示されます。パスビューマップは、ソースノードとデスティネーションノード間のパス内のアクティブなIPv4アドレスを表示します。パスビューマップは、データフロー問題のトラブルシューティングに役立ちます。ノードグループマップビューは、指定したグループ内のすべてのノードを表示します。

-  インベントリ

[インベントリ] ワークスペースの各ビューには、リストされているオブジェクトに関連する情報が含まれます。たとえば、[ノード]ビューには、ノードオブジェクトに関する情報が含まれています。[インタフェース]ビューには、インタフェースオブジェクトに関する情報が含まれています。[IPサブネット]ビューには、IPサブネットオブジェクトに関する情報が含まれています。

[インベントリ] ワークスペースには、以下のビューが表示されます。

- ノード
- インタフェース
- IPアドレス
- IPサブネット
- VLAN
- カード
- ポート
- ノードコンポーネント
- レイヤー2の接続
- ノード (すべての属性)
- インタフェース (すべての属性)
- IPアドレス (すべての属性)
- MIB変数
- カード冗長グループ
- ルーター冗長グループ (NNMi Advanced)
- ルーター冗長性メンバー (NNMi Advanced)
- ノードグループ
- インタフェースグループ

-  管理モード

このワークスペースには、NNMiによって現在管理されていない検出済みネットワーク要素のビュー


が含まれます。

- 管理対象外ノード
- 管理対象外のインタフェース
- 管理対象外のIPアドレス
- 管理対象外のカード
- 管理対象外ノードコンポーネント

-  インシデントの参照

[**インシデントの参照**] ワークスペースには、**重要なインシデント**<sup>1</sup>に関連する以下のビューが含まれます。

- 重要な未解決インシデント
- 解決済みの重要なインシデント

これらのキーインシデントビューはそれぞれ、インシデントのライフサイクル状態に基づいてフィルタリングされています。たとえば、[重要な未解決インシデント]ビューには、ライフサイクル状態の値が  解決済み以外の値になっている重要なインシデントがすべて表示されます。[解決済みの重要なインシデント]ビューには、ライフサイクル状態の値が解決済みとなっているインシデントがすべて表示されます。

[**インシデントの参照**] ワークスペースには、関連処理特性に基づいたインシデントのビューが含まれます。たとえば、未解決の根本原因インシデントやサービスインパクトインシデントです。

[**インシデントの参照**] ワークスペースを使用すれば、すべてのインシデントを表示することもできます。

NNMiには、インシデントで利用可能なすべての属性を含む、カスタムインシデントビューとカスタム未解決インシデントビューが用意されています。これらのビューは、インシデントビューをカスタマイズして、関心のあるインシデント属性のみを含めることができるようにすることが目的です。

このワークスペースには、NNM 6.x/7.x イベントおよびSNMPトラップから生成されたインシデントのビューも含まれます。

**注:** ロールに管理者権限が含まれる場合は、[管理モード] および [設定] ワークスペースにもアクセスできます。詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。

## 関連トピック

[「NNMiが提供するビュー」\(90ページ\)](#)

---


<sup>1</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。(2) 関連処理特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

## 第4章


### [分析] ペインについて

[分析] ペインには、選択したオブジェクトに関連する詳細が表示されます。NNMiは選択したオブジェクトについて適切な分析を実行し、表示する最も重要な情報を決定します。[分析] ペイン内のハイパーリンクには、選択した詳細に関するさらなる情報が表示されます。たとえば、インシデントを選択すると、[分析] ペインには、そのインシデントのソースノードやソースオブジェクトに関する重要な詳細が含まれることがあります。ノードを選択すると、[分析] ペインには、そのノードのインターフェースやIPアドレスに関する重要な詳細が含まれることがあります。

テーブルビューから [分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 [インベントリ])。
2. 目的のオブジェクトを含むビューを選択します (たとえば、[ノード] ビュー)。
3. 目的のオブジェクトを含む行を選択します。
4. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。


マップビューから [分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。


1. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 [トポロジマップ])。
2. マップビューを選択します (たとえば、**ルーター**)。

**注:** マップで開く前に開始ノードが必要な場合、使用する開始ノードの名前またはIPアドレスを入力します。

3. 目的のマップオブジェクトを選択します。
4. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。

[分析] ペインにアクセスするには、次の手順を実行します。

- フォームのツールバーの  [分析の表示] を選択すると、現在のフォームのトップレベルのオブジェクト情報が [分析] ペインに表示されます。



**注:**  [分析の表示] を選択すると、常にトップレベルのオブジェクトの情報が表示されます。


- フォームのタブのテーブルの行をクリックすると、選択したオブジェクトの詳細情報が [分析] ペインに表示されます。



NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。フォームについての詳細は、[「オブジェクトの使用」](#)を参照してください。

次のことに注意してください。

- 次の情報は、画面の一番下に表示されます。:

アナリシス		=開く
アナリシス - 要約 - <選択したオブジェクト>		=閉じる

必要に応じて  展開ボタンをクリックして、[分析] ペインを開きます。

- タイトルバーの上にマウスカーソルを置くと  記号が表示されますので、必要に応じてサイズを調整します。
- オブジェクトを選択するまで、[分析] ペインは空白のままです。
- 複数のオブジェクトを選択したり、選択をクリアしたりすると、NNMiは[分析] ペインの内容を保持します。
- ビューを変更すると、NNMiは[分析] ペインの内容をクリアします。
- [分析] ペインの  [リフレッシュ] アイコンをクリックすると、表示されている情報のサブセットがリフレッシュ(更新)されます。
- フォームを保存すると、NNMiは自動的に[分析] ペイン全体の内容をリフレッシュします。
- 「ゲージ」タブには、State PollerとCustom Poller SNMPのデータを表示するためのリアルタイムのSNMPゲージが表示されます。
  - これらのゲージはノード、インタフェース、カスタムノード収集、およびCPU、メモリー、バッファ、バックプレーンのノードコンポーネントのタイプの情報を表示します。
  - NNMiは、ノードまたはインタフェースでサポートする重要な各MIBオブジェクト識別子(OID)のゲージを最大で24個(デフォルト)表示します。

**ヒント:** NNMi管理者は、`nms-ui.properties`ファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

- 各ゲージは、デフォルトのリフレッシュレート(15秒)を使用して現在のOID値を表示します(NNMi管理者は、`nms-ui.properties`ファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます)。
- 表示される値の範囲は、NNMiで発生したOIDの最大値と最小値を示します。
- パーcentage値を追跡するゲージの場合、NNMiは赤い線を使用してOID値が100パーセント近くになっている場所を示します。
- モニタリングしきい値を分析するために使用されるOIDと[分析] ペインに表示されるOIDは1対1で対応していません。たとえば、[分析] ペインに表示されるCiscoメモリープールのOID値と、モニタリング対象属性のメモリー使用率のしきい値に達しているまたはこのしきい値を超えているかどうかを計算するための値は一致しません。これは、一部のしきい値メトリックスでは1つのOIDで許容される計算よりも複雑な計算を要するためです。

**ヒント:** ゲージのラベルの値が重複して見える場合、そのラベルにマウスを重ねて、より完全なヒント名を表示できます(NNMi管理者がゲージのタイトルをNNMiコンポーネント名からSNMP MIB変数名に変更する場合、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます)。

- 選択したメトリックのSNMP線グラフを開始するには、各ゲージの下に表示されたアイコンをクリックします。
- ツールのヒントを選択し、コピーするには、ゲージをダブルクリックします。ツールのヒントを選択し、コピーできるテキストウィンドウが開きます。

ヒント: ヒント: ビューによってはコンソールの **[アクション]** メニューからもアクセスできるものもあります。詳細は、[「アクションを使用してタスクを実行」\(106ページ\)](#)を参照してください。

テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューにアクセスできます。

表示される情報のタイプの詳細は、[「\[分析\] ペインを使用する」](#)を参照してください。

#### 関連トピック

[「テーブルビューを使用する」\(47ページ\)](#)

[「マップビューを使用する」\(69ページ\)](#)



## 第5章

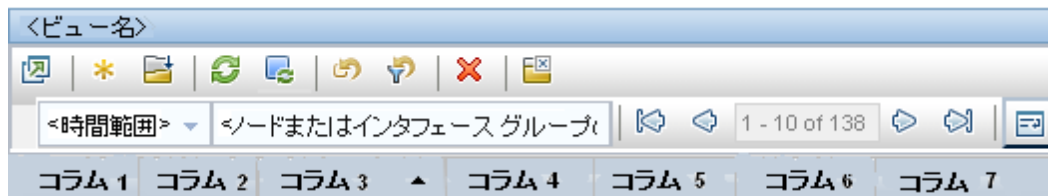
### ビューツールバーの使用

NNMiには、以下のタイプのビューにツールバーが用意されています。

- [テーブルビューツールバー](#)
- [ノードグループマップビューツールバー](#)
- [近隣接続ビューツールバー](#)
- [パスビューツールバー](#)
- [ネットワーク概要ツールバー](#)







#### テーブルビューツールバー

これは、テーブルビュー表示パネルのツールバーです。





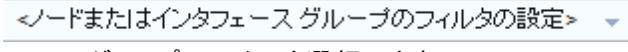
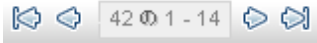






テーブルビューツールバーを使用して、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

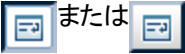
#### ビューツールバーアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[新規作成]。NNMi管理者のみ。新しいオブジェクトインスタンスを作成するためにフォームを開きます。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。 <a href="#">「オブジェクトに関する詳細にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)」(17ページ)</a> を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細は、 <a href="#">「ビューをリフレッシュする」(46ページ)</a> を参照してください。定期的な更新が無効になっている場合は再開します。
	[周期がXのリフレッシュを停止]。ビューの定期的なリフレッシュを一時無効にします。詳細は、 <a href="#">「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」(50ページ)</a> を参照してください。
	[デフォルト設定の復元]。テーブル列のサイズ変更、ソート選択、およびフィルターを含むデフォルトの設定をリセットします。非表示にした列はビューに復元されます。 <a href="#">「列を非表示にす</a>

## ビューツールバーアイコン, 続けて

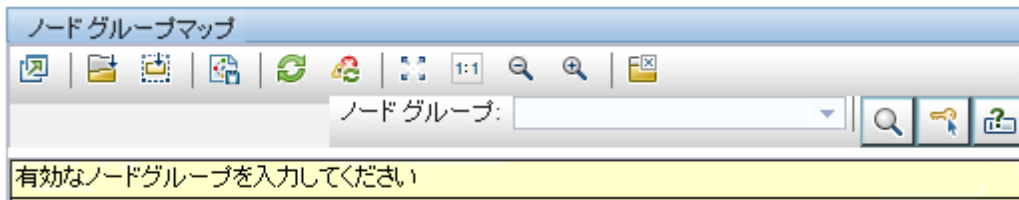
アイコン	説明
	<a href="#">る」(48ページ)</a> を参照してください。
	[デフォルトフィルターの復元]。現在適用されているフィルターをクリアします。「 <a href="#">テーブルビューをフィルターリングする」(51ページ)</a> を参照してください。
	[削除]。ロールで許可される場合は、選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインターフェースおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
	期間フィルターを選択します。このフィルターはインシデントビューでのみ表示されます。
	利用可能なノードグループまたはインターフェースグループフィルターを選択します。
	<p>ページコントロールは、テーブルを表示する場合にのみ表示されます。このコントロールは、テーブル行の情報を1ページずつ表示します。</p> <p>1ページ前に戻るには、 [前] またはPAGE UPを使用します。</p> <p>1ページ先に進むには、 [次] またはPAGE DOWNを使用します。</p> <p>テーブルの先頭に移動するには、 [最初] またはHomeを使用します。</p> <p>テーブルの末尾に移動するには、 [最後] またはEndを使用します。</p> <p>1行上にスクロールするには、上矢印 (↑) を使用します。</p> <p>1行下にスクロールするには、下矢印 (↓) を使用します。</p> <p>ページコントロールは、現在のテーブルの行の合計数、およびその合計の中のどの行グループが現在表示されているかを表示します。</p> <p>ページコントロールに&lt;テーブルサイズの最大値&gt;が表示された場合は、テーブルの行数がNNMiで指定した最大テーブルサイズを超えていることを意味します。</p> <p>実際のテーブルサイズを調べるには、テーブルステータスバーの[合計]値を探します。NNMiは、テーブルの行の合計数とテーブルに設定されている表示制限値を表示します。</p> <p>テーブルサイズが最大テーブルサイズの値を超えた場合は、以下のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NNMiは、ユーザーがテーブルビューを更新したり、テーブルフィルターをアップデートするたびに、テーブル内の実際の行数を計算し直します。</li> <li>• ユーザーがテーブルをスクロールして最後の行に到達すると、NNMiはダイアログを表示して、</li> </ul>

ビューツールバーアイコン, 続けて

アイコン	説明
	<p>テーブルが指定した制限値よりも大きいことと、テーブルビューのフィルターリングを推奨することを示します。テーブルビューをフィルターリングする方法の詳細は、「<a href="#">テーブルビューをフィルターリングする</a>」(51ページ)を参照してください。</p>
	<p>テキストの折り返しを有効または無効にします。</p>






ノードグループマップツールバー

これは、ノードグループマップ表示パネルのツールバーです。












ノードグループマップビューのツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

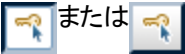



ノードグループマップツールバーのアイコン

アイコン	説明
	<p>[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。</p>
	<p>[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。「<a href="#">オブジェクトに関する詳細にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)</a>」(17ページ)を参照してください。</p>
	<p>[ノードグループマップを開く]。選択した子ノードグループのノードグループマップを開きます。子ノードグループマップは、現在のマップを、子ノードグループ内の各ノードの表示で置き換えます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>注:</b>  ノードグループの記号をダブルクリックして、子ノードグループマップを開くこともできます。</p> </div> <p>ノードグループの詳細は、「<a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a>」(54ページ)を参照してください。</p>
	<p>[レイアウトの保存]。現在のノードグループマップ上の各ノードの現在の位置を保存します。</p> <p><b>注:</b> このオプションを使用するたびに、前の位置</p>

## ノードグループマップツールバーのアイコン, 続けて

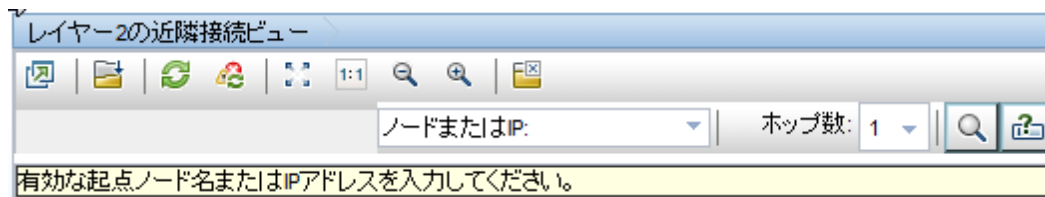
アイコン	説明
	情報は削除されます。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細は、 <a href="#">「ビューをリフレッシュする」(46ページ)</a> を参照してください。
	[ステータスの更新]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細は、 <a href="#">「マップのノードステータスをリフレッシュする」(72ページ)</a> を参照してください。
	[全体表示 (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
<div data-bbox="282 1255 805 1308">ノードグループ <input type="text"/></div>	<p>表示するマップのノードグループを特定できます。</p> <p><b>注:</b> 入力時には、基準に一致する現在の有効なエントリーのすべてを表示する選択リストが提供されます (大文字と小文字が区別されます)。推奨値の中の1つを使用する必要があります。</p>
 または 	[検索]。現在のマップで識別されたノードを強調表示をオン、オフに切り替え、確実にマップの表示領域内にノードが表示されるようにします。 <a href="#">「マップ内でノードを検索する」(72ページ)</a> を参照してください。

## ノードグループマップツールバーのアイコン, 続けて

アイコン	説明
 または 	[ <b>重要なインシデントの表示</b> ]. <b>重要なインシデント</b> <sup>1</sup> が関連付けられているマップシンボルをNNMiで表示したり非表示にしたりします。詳細は、「 <a href="#">ノードグループマップオブジェクト</a> 」(82ページ)を参照してください。
 または 	[ <b>ツールヒント</b> ]. マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報をオン、オフに切り替えます。詳細は、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(73ページ)を参照してください。





## 近隣接続ビューツールバー

これは、近隣接続ビュー表示パネルのツールバーです。



近隣接続ビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

## 近隣接続ビューツールバーアイコン

アイコン	説明
	[ <b>新しいウィンドウでビューを表示</b> ]. (メインコンソールからのみ利用可能です。)[新しいウィンドウでビューを表示]. 現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[ <b>開く</b> ]. 選択したオブジェクトのフォームを表示します。「 <a href="#">オブジェクトに関する詳細にアクセスする</a> 」(フォームおよび[分析]ペイン)」(17ページ)を参照してください。
	[ <b>リフレッシュ</b> ]. 現在のビューをリフレッシュします。詳細は、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(46ページ)を参照してください。
	[ <b>ステータスの更新</b> ]. マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細は、「 <a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a> 」(72ページ)を参照してください。

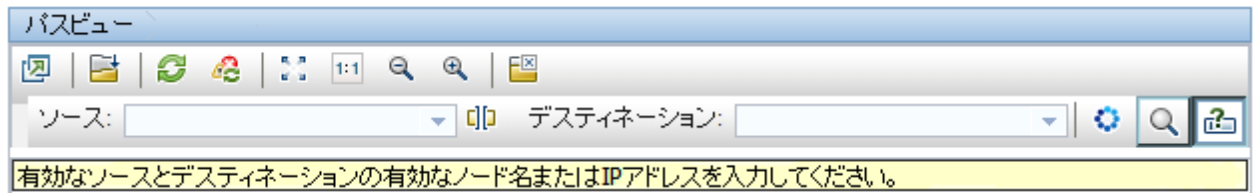
<sup>1</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連処理特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

## 近隣接続ビューツールバーアイコン, 続けて

アイコン	説明
	「 <b>全体表示 (=)</b> 」。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	「 <b>実際のサイズ (1)</b> 」。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	「 <b>ズームアウト (-)</b> 」。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	「 <b>ズームイン (+)</b> 」。現在のサイズを25%ズームインします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	「 <b>閉じる</b> 」。現在のビューを閉じます。
ノードまたは IP: <input type="text"/>	隣接するノードをマップする開始ノードを指定します。ノードの名前属性の現在値またはノードのIPアドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。  <b>注:</b> 入力時には、基準に一致する現在の有効なエントリーのすべてを表示する選択リストが提供されます。推奨値の中の1つを使用する必要があります。
ホップ数: <input type="text" value="1"/>	マップビュー内に表示されるホップ数を選択します。ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。
	「 <b>検索</b> 」。現在のマップで識別されたノードを強調表示をオン、オフに切り替え、確実にマップの表示領域内にノードが表示されるようにします。「 <a href="#">マップ内でノードを検索する</a> 」(72ページ)を参照してください。
	「 <b>ツールヒント</b> 」。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報をオン、オフに切り替えます。詳細は、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(73ページ)を参照してください。

## パスビューツールバー

これは、パスビュー表示パネルのツールバーです。




パスビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

#### パスビューツールバーのアイコン






アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。「 <a href="#">オブジェクトに関する詳細にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)</a> 」(17ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細は、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(46ページ)を参照してください。
	[ステータスの更新]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細は、「 <a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a> 」(72ページ)を参照してください。
	[全体表示 (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
	パスビューで使用されるソースノードを指定します。

パスビューツールバーのアイコン, 続けて

アイコン	説明
	<p><b>注意:</b> ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、<a href="#">[ノード] フォーム</a>の値です。</p> <p><b>注:</b> 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>NNMi Advanced。パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p>
	<p><b>[ノードのスイッチ]</b>。パスビューの中でソースノードとデスティネーションノードをスイッチします。</p>
<p>デスティネーション: <input type="text"/></p>	<p>パスビューのデスティネーションノードを指定します。</p> <p><b>注意:</b> ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、<a href="#">[ノード] フォーム</a>の値です。</p> <p><b>注:</b> 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>NNMi Advanced。パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p>



## パスビューツールバーのアイコン, 続けて

アイコン	説明
	[ <b>パスの計算</b> ]. パスビューを計算します。  注: パスビューを再計算する場合にも、このアイコンを使用します。
 または 	[ <b>検索</b> ]. 現在のマップで識別されたノードを強調表示をオン、オフに切り替え、確実にマップの表示領域内にノードが表示されるようにします。 <a href="#">「マップ内でノードを検索する」(72ページ)</a> を参照してください。
 または 	[ <b>ツールヒント</b> ]. マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報をオン、オフに切り替えます。詳細は、 <a href="#">「マップのツールのヒント情報を制御する」(73ページ)</a> を参照してください。







## ネットワーク概要ツールバー

これは、ネットワーク概要表示パネルのツールバーです。










ネットワーク概要ツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

## ネットワーク概要ツールバーアイコン

アイコン	説明
	[ <b>新しいウィンドウでビューを表示</b> ]. (メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[ <b>開く</b> ]. 選択したオブジェクトのフォームを表示します。 <a href="#">「オブジェクトに関する詳細にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)」(17ページ)</a> を参照してください。
	[ <b>リフレッシュ</b> ]. 現在のビューをリフレッシュします。詳細は、 <a href="#">「ビューをリフレッシュする」(46ページ)</a> を参照してください。
	[ <b>ステータスの更新</b> ]. マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細は、 <a href="#">「マップのノードステータスをリフレッシュする」(72ページ)</a> を参照してください。
	[ <b>全体表示 (=)</b> ]. ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。
	[ <b>実際のサイズ (1)</b> ]. 現在のズーム設定をキャンセルします。詳細は、 <a href="#">「ズームの倍率を調整する」(71ページ)</a> を参照してください。

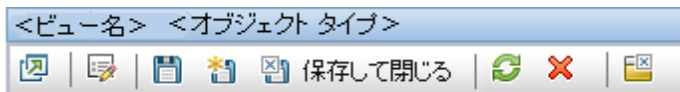
## ネットワーク概要ツールバーアイコン, 続けて

アイコン	説明
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細は、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(71ページ)を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
 または 	[検索]。現在のマップで識別されたノードを強調表示をオン、オフに切り替え、確実にマップの表示領域内にノードが表示されるようにします。「 <a href="#">マップ内でノードを検索する</a> 」(72ページ)を参照してください。
 または 	[ツールヒント]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報をオン、オフに切り替えます。詳細は、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(73ページ)を参照してください。

## 第6章

### フォームツールバーの使用









これはフォームツールバーです。



ロールが許容する場合は、ツールバーを使用してフォーム内で以下のタスクを実行できます。利用可能なアクションのグループは、フォームごとに変ります。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューにアクセスできます。

#### フォームツールバーアイコンアクション

アイコン	アクション
	<b>[新しいウィンドウでフォームを表示]</b> 。現在のフォームを新しいウィンドウで表示します。  注: NNMiは、現在のフォームを閉じてから、新しいウィンドウでそのフォームを表示します。
	<b>[分析の表示]</b> 。現在のフォームの[分析] ペイン情報を表示します。詳細は、 <a href="#">「[分析] ペインについて」(30ページ)</a> を参照してください。
	<b>[保存]</b> 。現在のフォームを保存します。
	<b>[保存して新規作成]</b> 。現在のフォームを保存し、新規のオブジェクトインスタンスを作成できる空のフォームを新たに開きます。
	<b>[保存して閉じる]</b> 。現在のフォームを保存して閉じます。
	<b>[リフレッシュ]</b> 。現在のフォームのデータを更新します。
	<b>[削除]</b> 。選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインタフェースおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。  注: ノードグループやインタフェースグループのようなフィルターを使用して作成したオブジェクトインスタンスを削除しても、NNMiによって削除されるのは、ノードグループフィルターとインタフェースグループフィルターのみです。NNMiは、選択したグループに属するノードまたはインタフェースは削除しません。
	<b>[閉じる]</b> 。現在のフォームを閉じます。

**関連トピック**

[「オブジェクトに関する詳細にアクセスする \(フォームおよび \[分析\] ペイン\)」\(17ページ\)](#)

## 第7章

### ビューを使用してデータを表示する


ビューは、データを表示するための基本的な仕組みです。コンソールの中では、ネットワークを視覚化するのに役立つさまざまなビューを使用できます。

#### NNMiコンソールにおけるビューのタイプ





ビューのタイプ	長所
<a href="#">テーブルビュー</a>	オブジェクトのリストに対して、ソートされた順序でサマリー情報を表示します。たとえば、ステータスでソートされ、ライフサイクル状態でフィルターリングされたインシデントのリストを表示することができます。
<a href="#">マップビュー</a>	オブジェクト間の関係を図示します。

ビューにアクセスするには、[ワークスペース](#)を選択し、表示するビューをクリックします。ビューによってはコンソールの[\[アクション\]](#)メニューからもアクセスできるものもあります。詳細は、[「アクションを使用してタスクを実行」](#)(106ページ)を参照してください。

テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[\[アクション\]](#)メニューにアクセスできます。

**注:** NNMi管理者は、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除できます。 [\[リフレッシュ\]](#)アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードは透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、**検出の初期進行状態とネットワーク概要**マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

ビューからは、以下のことを実行できます。

- [「複数オブジェクトを選択する」](#)(46ページ)
- [「ビューをリフレッシュする」](#)(46ページ) 
- [「マップのノードステータスをリフレッシュする」](#)(72ページ) 
- [「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」](#)(50ページ) 
- [「ビューツールバーの使用」](#)(33ページ)によって、新しいウィンドウでビューを表示する 
- [「アクションを起動する」](#)(19ページ)

管理者のNNMiロールに割り当てられたNNMiユーザーアカウントでは、このビューから、一部のオブジェクトのインスタンスの作成や削除を行うことができます。NNMi管理者の場合、詳細は、[\[ヘルプ\]](#) → [\[管理者用のヘルプ\]](#)を参照してください。

#### 関連トピック

[「テーブルビューを使用する」](#)(47ページ)

[「マップビューを使用する」\(69ページ\)](#)

## 複数オブジェクトを選択する

テーブルビューまたはマップビューを使用して、複数のオブジェクトの選択および選択解除を行うことができます。この機能は、詳細にアクセスしたり、ノード、IPアドレス、またはインタフェースなどの複数のオブジェクトにアクションを起動する場合に便利です。

### テーブルビュー内の複数オブジェクト

**ヒント:** 各テーブルビューのステータスバーを調べ、現在選択されているオブジェクトの数およびビューの中のオブジェクトの合計数を確認します。

#### テーブルビューで複数のオブジェクトを選択するには

選択する各オブジェクトの行を [Ctrl] キーを押しながらクリックして選択します。

#### テーブルビューの中でオブジェクトを選択解除するには

選択解除する各オブジェクトの行をもう一度選択します。

### マップビュー内の複数オブジェクト

#### マップビューで複数のオブジェクトを選択するには

マップ上で、[Ctrl] キーを押しながら目的の各オブジェクトをクリックして選択します。

選択した各オブジェクトが変化して、選択されたことを示します。

#### マップビューの中でオブジェクトを選択解除するには

マップ上で、目的のオブジェクトをもう一度選択します。

選択解除した各オブジェクトは、マップ上で通常に戻ります。


### 関連トピック


[「テーブルのすべての行を選択する」\(48ページ\)](#)

## ビューをリフレッシュする


ビューは、いつでも手動でリフレッシュして最新の情報セットを表示できます。各ビューについてNNMIが設定した自動リフレッシュレートを変更することはできません。

テーブルビューをリフレッシュするには、次の手順を行います。

手動でビューをリフレッシュするには、テーブルビューツールバーの  [リフレッシュ] アイコンをクリックします。

テーブルビューステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが有効か無効かが表示されます (無効な場合、 [リフレッシュ] アイコンをクリックすると、定期的なリフレッシュが有効になります)。

マップビューをリフレッシュするには、次の手順を行います。

マップビューツールバーで  [リフレッシュ] アイコンをクリックし、ノード配置、ノード追加、およびノード削除における変更を更新します。

マップ上のノードのステータスをリフレッシュするには、[「マップのノードステータスをリフレッシュする」\(72ページ\)](#)を参照してください。

### 関連トピック

[「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」\(50ページ\)](#)

## テーブルビューを使用する

テーブルビューではデータが表形式で表示されます。各行には、1つのオブジェクトに関するデータが表示されます。行が1つの画面に収まらない場合は、スクロールバーを使用してテーブルビューをスクロールできます。

テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つ場合は、テーブルビューをフィルターリングして行数を減らします。テーブルの行数が、設定された上限を超えたことをNNMIによって示す方法の詳細は、[「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)を参照してください。テーブルビューをフィルターリングする方法は、[「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)を参照してください。

テーブルビューからは、ビュー表示パネルのツールバーでアクセスする機能に加えて、以下のタスクを実行できます。

- [「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)
- [「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)
- [「列データをソートする」\(49ページ\)](#)
- [「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)
- [「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)
- [「テーブル情報をエクスポートする」\(67ページ\)](#)
- [「アクションを起動する」\(19ページ\)](#)
- [「オブジェクトに関する詳細にアクセスする \(フォームおよび \[分析\] ペイン\)」\(17ページ\)](#)

以下のカスタマイズは、ブラウザーのセッションにわたって保存されます。

- 列の幅
- 非表示の列
- 列および順序のソート
- 列のフィルター
- クイックフィルターの値
- ノードまたはインタフェースグループのフィルター
- 期間フィルター (インシデント用)

保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細は、[「ビュー設定を制限する」\(68ページ\)](#)を参照してください。

## 列のサイズを変更する

マウスを使用して列のサイズを変更できます。

テーブル内の列のサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. サイズ変更アイコン (↔) が表示されるまで、列の端にマウスを重ねた状態にします。
2. 列の端を目的の幅にドラッグします。

#### 関連トピック

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(49ページ\)](#)

## 列を非表示にする

特定の列の情報をビューに表示する必要がなくなった場合には、指定した列を非表示にすることができます。

テーブル列を非表示にするには、次の操作を行います。

1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示] を選択します。  
列名のリストが表示されます。
3. 非表示にする列の名前の前にあるチェックボックス  をクリックしてオフにします。

#### 関連トピック

[「非表示の列を表示する」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(49ページ\)](#)

## 非表示の列を表示する

非表示の列を表示するには、次の手順を実行します。

非表示のテーブル列を表示するには、次の手順を実行します。

1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示] を選択します。  
列名のリストが表示されます。
3. 表示する列の名前の前にあるチェックボックス  をクリックしてオンにします。

#### 関連トピック

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(49ページ\)](#)

## テーブルのすべての行を選択する

テーブル内の行をすべて選択する場合:

テーブル内の行をすべて選択するには、次の操作を実行します。



1. テーブルビューで右クリックします。
2. **[すべて選択]**を選択します。

**ヒント:** [CTRL] キーを押しながらAを押すことによって、テーブル内のすべての行を選択することもできます。

テーブルビューデータが強調表示されます。

### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)

## 列データをソートする

列をソートすることで、テーブルの最上位に最も重要な情報を表示できます。たとえば、危険域にあるすべてのノードを表示したい場合などがあります。また、ノードの連絡情報を検索する必要がある場合もあります。

列でソートするには、次の操作を行います。

1. ソートの対象となる列のヘッダーまたはデータセルを右クリックします。
2. 列を昇順にソートするには、[ソート:] → [昇順] を選択します。
3. 列を降順にソートするには、[ソート:] → [降順] を選択します。

列データをソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 列のヘッダーをクリックすると、その列の値についてソートを開始できます。列のヘッダーを再度クリックすると、ソートの方向が逆になります。
- HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でソートが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 大量のデータを含むテーブル(たとえば、すべてのインタフェースまたはインシデントが表示されているテーブルなど)をソートしようとすると、応答に時間がかかる場合があります。この場合は、ソートを実行する前に、まずテーブルの情報をフィルターリングし、対象となる値のみが含まれるようにすることをお勧めします。

### ソートの詳細

テーブルの列をソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 1度にソートできるのは、1コラムヘッダーについてのみです。
- 大文字は、小文字とは別にソートされます。
- NNMiでは、辞書編集的順序付けを使用してテーブル列をソートする場合があります。このソートによって、数字を含むオブジェクトIDなどの文字列は馴染みのない順番にソートされる場合があります。たとえば、sysObjectIDデータタイプをソートする場合は、以下のような順序にソートされると考えます。

- 1.3.6.1.4.1.1
- 1.3.6.1.4.1.3
- 1.3.6.1.4.1.20

辞書編集的順番付けを使用すると、これらのシステムオブジェクトIDの値は、以下のようにソートされます。

- 1.3.6.1.4.1.1
  - 1.3.6.1.4.1.20
  - 1.3.6.1.4.1.3
- ステータスおよびifTypeなど、テーブルの列の中にはアルファベット順とは異なる自然なソート順を持つデータタイプがあります。これらの列をソートする場合、アルファベット順ではなく自然な順序または事前決定された順序に従って値がソートされます。たとえば、ステータス列をソートした場合、以下の順序 (昇順) あるいは逆の順序 (降順) で表示されます: **危険域、重要警戒域、警戒域、注意域、認識不能、無効、正常域**、およびステータスなし。
  - ソートの選択は、ユーザーセッションにわたって保存されます。

#### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(48ページ\)](#)


## ビューの定期的なリフレッシュを停止する

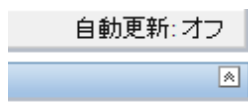
テーブルビューに表示される項目のグループに対する定期的なリフレッシュは、いつでも手動で停止できます。


**注:** このグループのオブジェクトのステータスは、常に定期的に更新されます。そのため、更新が停止されるのは、NNMiデータベースに対して追加または削除されるネットワークオブジェクトのみです。

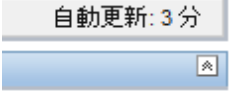
NNMiのステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが無効にされたかどうかが表示されます。

テーブルビューの定期的な更新を停止するには、次の操作を行います。

1.  「周期がXのリフレッシュを停止」アイコンをクリックします。NNMiコンソールの右下には、次のメッセージが表示されます。



2. 更新レートを再起動する場合は、ビュー表示パネルのツールバーにある  [リフレッシュ] アイコンをクリックします。NNMiコンソールの右下には、次のメッセージが表示されます。



自動更新: 3分

**注:** リフレッシュレートは変更できません。NNMiは、各ビューに対してデフォルトのレートを設定します。

### 関連トピック

[「ビューをリフレッシュする」\(46ページ\)](#)

## テーブルビューをフィルターリングする

テーブルビューを使用するときは、オブジェクトの属性値の1つを使ってビューをフィルターリングすることで、表示される情報の量を減らせます。たとえば、アクセス対象を、ステータスが**危険域**にあるインシデントだけにしたり、説明が**インタフェース停止中**であるインシデントだけにしたりすることができます。

テーブルビューのフィルターリングは、テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つときに、行数を減らす場合にも役立ちます。テーブルの行数が、設定された上限を超えたことをNNMiによって示す方法の詳細は、[「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)を参照してください。

初めにビューが表示されると、NNMiが提供するビュー定義に基づいてフィルターリングされた列のセットが表示されます。

**注:** ビューステータスバーには、そのビューで1つ以上のフィルターが設定されているかどうかを示されます。[フィルター: オン] は、1つ以上のフィルターが設定されていることを意味します。これらのフィルターは変更できます。ビューの中には、NNMiが工場で設定され変更できないフィルターを提供するものもあります。たとえば、[自分の未解決インシデント] ビューは、[割当先] 属性でフィルターリングされますが、これは変更できません。[フィルター: オフ] は変更可能なフィルターがビューに設定されていないことを意味します。これらのビューには、工場で設定されたフィルターがある場合があります。

フィルターを指定する際には、以下のような操作を行うことができます。

### ドロップダウンリスト選択フィルター

- [「ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルターリングする」\(53ページ\)](#)
- [「期間でフィルターリングする \(インシデントビューのみ\)」\(55ページ\)](#)

### 列選択フィルター

- [「属性値でフィルターリングする」\(56ページ\)](#)
- [「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)
- [「フィルターを削除する」\(64ページ\)](#)
- [「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)
- [「現在のフィルター設定を表示する」\(65ページ\)](#)

フィルターを使用する際には、以下のことに注意してください。

- フィルターリングは、テーブル中の複数の列に対して行うことができます。このようなフィルターは、各列に対するフィルターの論理積として扱われます。

- HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でフィルターリングが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 時間の値を表すコラムをフィルターリングするとき、NNMiはミリ秒に合わせます (たとえば、最後の発生)。つまり、ミリ秒に一致する時刻のみがビューに含まれます。包含する時間値の範囲を広げる場合は、フィルターオプション [以下] または [以上] の使用を試みてください。
- NNMiでは、フィルターの操作やオプションに、データタイプごとに制限があります。属性のデータタイプに当てはまるフィルターオプションのみが表示されます。次表では、データタイプおよび有効なフィルターオプションを説明します。
- 表示されるフィルターオプションの部分集合は、データセル、列ヘッダー、空白行のいずれをクリックするかによって変化します。データセルのフィルターメニューには、選択したデータセルの値を使用するフィルターだけが表示されます。

#### 利用可能なフィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
すべてのデータタイプ	この値に等しい この値と等しくない 詳細は、「 <a href="#">属性値でフィルターリングする</a> 」(56ページ)を参照してください。
テキスト (文字列) 数値 列挙リスト IPアドレス 日付と時刻	フィルターの作成...
論理データ型	trueである falseである
数値 (整数、IPアドレス、および日付)	この値以上 この値以下 詳細は、「 <a href="#">属性値でフィルターリングする</a> 」(56ページ)を参照してください。

#### 利用可能な追加フィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
グループ	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、利用可能なノードおよびインタフェースのドロップダウンメニューです。 グループフィルターの詳細は、「 <a href="#">ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルターリングする</a> 」

## 利用可能な追加フィルターオプション, 続けて

データタイプ	有効なフィルターオプション
ルーター	<a href="#">(53ページ)</a> を参照してください。
クイックフィルター	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、特定の属性として可能なあらゆる値のドロップダウンメニューを提供します。これらのドロップダウンメニューは、ビューの名前に「～別」が含まれるテーブルビューに対して表示されます。
期間フィルター	インシデントビュー内のビュー表示パネルのツールバーの中にドロップダウンメニューを提供します。このフィルターには、インシデントビューをフィルターリングすることができるさまざまな期間のリストが表示されます。使用できる値は次のとおりです。 <b>過去5分間、過去1時間、過去8時間、過去1日、過去3日、過去1週間、過去1か月、およびすべて。</b> 詳細は、「 <a href="#">期間でフィルターリングする (インシデントビューのみ)</a> 」( <a href="#">55ページ</a> )を参照してください。

## ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルターリングする

NNMiでは、ノードグループまたはインタフェースグループでテーブルビューをフィルターリングできます。たとえば、重要なCiscoルーターすべてを表示したり、ネットワーク内のすべてのVoice-Over-IPインタフェースを表示できます。

NNMi管理者がこれらのグループを作成します。これらのグループは、以下に示すように、ビューツールバーの[グループセレクト]ドロップダウンメニューリストにリストされています。

<ノードまたはインタフェースグループのフィルタの設定>

ノードグループのフィルターは、次のビューで使用できます。

- [ノード] ビュー
- [インタフェース] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [インシデント] ビュー

注: ノードグループフィルターは、[NNM 6.x/7.xイベント] ビューでは使用できません。

インタフェースグループのフィルターは、以下のビューで使用できます。

- [インタフェース] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [カード] ビュー
- [ノードコンポーネント] ビュー

ノードまたはインタフェースグループでビューをフィルターリングするには、次の操作を行います。

1. 目的のビューに移動します。
  - a. [ワークスペース] ナビゲーションパネルで、[インベントリ] などのような、使用するビューを含むワークスペースを選択します。
  - b. たとえば [インタフェース] のように、目的のビューを選択します。
2.  [グループセクター] ドロップダウンリストから、フィルターとして使用するノードグループまたはインタフェースグループを選択します。

ノードグループまたはインタフェースグループを使用する場合は、次のことに注意してください。

- デフォルトでは、テーブルビューはノードグループまたはインタフェースグループではフィルターリングされません。
- ビューがノードグループとインタフェースグループの両方でフィルターできる場合、選択ボックスのリストには、まずノードグループ、次にインタフェースグループが表示されます。各リストはアルファベット順で表示されます。
- フィルターが適用されると、ビューは自動的に更新され、適切なオブジェクトのセットが表示されます。
- ノードグループまたはインタフェースグループフィルターを設定する場合、NNMiでは、グループフィルターと他のフィルターとをANDブール演算子で結合します。
- グループフィルターをクリアするには、選択値を「<ノードグループのフィルターの設定<」または「<ノードまたはインタフェースグループのフィルターの設定>」に戻します。

#### 関連トピック

[「属性値でフィルターリングする」\(56ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(64ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(65ページ\)](#)

#### ノードグループおよびインタフェースグループについて

ネットワークをモニタリングする際には、特定のノードまたはインタフェースのセットに関する情報だけを表示することができます。ネットワーク管理者は、ノードまたはインタフェースのセットをグループ化して、ノードグループまたはインタフェースグループにすることができます。ノードグループには、たとえば重要なCiscoルーターすべて、あるいは特定のビル内にある全ルーターのグループなどがあります。また、Voice-Over-IPに使用するインタフェースをすべて、ネットワーク内でグループ化するということがあります。


管理者は、次のいずれかに基づいてノードグループを設定します。

- ベンダーまたはモデルSNMPオブジェクトID。
- 名前またはIPアドレスで識別される特定のデバイス。
- ノードグループを定義するためのワイルドカード文字で識別されるデバイス。組織で決められた命名方法に基づいてグループ化を行うこともできます。

注: ノードグループでは、NNMiがネットワークデバイスをモニタリングする方法を制御することもできます。たとえば管理者は、各グループに対して、固有の稼働状態のモニタリング間隔を設定することができます。

グループの定義を表示できます。


#### • ノードグループの定義

- ワークスペースのナビゲーションパネルで [インベントリ] ワークスペースを選択します。
- [ノードグループ] ビューを選択します。
- ノードグループを表す行をダブルクリックします。
- [ノードグループ] フォームが表示されます。
- 終了した後、 [閉じる] アイコンをクリックします。

#### • インタフェースグループの定義

- ワークスペースのナビゲーションパネルで [インベントリ] ワークスペースを選択します。
- [インタフェースグループ] ビューを選択します。
- インタフェースグループを表す行をダブルクリックします。
- [インタフェースグループ] フォームが表示されます。

インタフェースグループの定義は、チームが重要なネットワークデバイスを識別する方法と一致しています。各インタフェースグループには1つ以上のインタフェースタイプを指定することができます (業界標準のIANA ifType-MIB変数に基づく)。

- 終了した後、 [閉じる] アイコンをクリックします。

ノードグループビューとインタフェースグループには、特殊なアクションが用意されています。[「アクションを使用したタスクの実行」](#)を参照してください。

### 期間でフィルターリングする (インシデントビューのみ)

インシデントビューでは、期間によってビューをフィルターリングできます。期間によるフィルターを使用してフィルターリングを行うと、興味のある最新のインシデントに集中することができます。使用できる期間は次のとおりです。

- 過去5分間
- 過去1時間
- 過去8時間
- 過去1日
- 過去3日
- 過去1週間
- 過去1か月
- すべて

注: ひと月は31日として定義されています。

## 属性値でフィルターリングする

属性 (列) の値に基づいてフィルターを指定する場合、オブジェクトインスタンス内の値を選択して値を指定することが必要なフィルターオプションや、[フィルターの作成...] ダイアログを開いて値を指定することが必要なフィルターオプションを使用します。属性に値が含まれるか否かに基づいてフィルターを指定することもできます。

- [「フィルター値を選択する」\(56ページ\)](#)
- [「値を指定するためのフィルターを作成する」\(57ページ\)](#)
- [「NULL値のフィルターを使用する」\(60ページ\)](#)

## フィルター値を選択する

以下のフィルターオプションは、フィルターリングの対象として属性値を必要とします。

注: 以下にリストしたフィルターオプションを使用する場合は、最初に、フィルターリングするテーブル内の値を右クリックします。

### フィルター設定

フィルターオプション	説明
この値に等しい	NNMiは、指定した属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値と等しくない	NNMiは、属性値に、指定した値を含まないインスタンスのみを表示します。 このフィルターには複数の値を指定できますが、一回のオプション選択で入力できる値は1つだけです。 注: 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルターリングすることもできます。
この値以上	NNMiは、指定した値以上の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値以下	NNMiは、指定した値以下の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
trueである	NNMiは、属性値に値 <b>true</b> を含むインスタンスのみを表示します。
falseである	NNMiは、属性値に値 <b>false</b> を含むインスタンスのみを表示します。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。Webブラウザごとに、カスタマイズした設定を保存できるテーブルの数についての詳細は、[「ビュー設定を制限する」\(68ページ\)](#)を参照してください。テーブルビューのカスタマイズの削除方法は、[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)を参照してください。

テーブル内の属性値を選択してビューをフィルターリングするには、次の操作を行います。



1. フィルターリングの対象となる属性値を右クリックします。
2. 以下のフィルターオプションの中から1つ選択します。

- この値に等しい
- この値と等しくない
- この値以上
- この値以下
- trueである
- falseである

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルターリングが行われた各列は、▼ [フィルター] アイコンによって示されます。

### 関連トピック

[「NULL値のフィルターを使用する」\(60ページ\)](#)

### 値を指定するためのフィルターを作成する

NNMiを使用すると、フィルターリングの対象となる属性値を設定できます。属性値は、以下のタイプの値のフィルターを作成することによって設定します。

- テキスト (文字列)
- 数値
- 列挙リスト
- IPアドレス
- 日付と時刻

1つ以上の値を指定して情報をフィルターリングするには、次の操作を行います。

1. フィルターリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. [フィルターの作成...]を選択します。

NNMiは、選択した列のデータ型に対応する[フィルター]ダイアログを表示します。

3. 表示された[フィルターの作成...]ダイアログで、次の手順を実行します。
  - a. フィルターオプションを選択します ([「フィルターオプション」表](#)を参照)。
  - b. 有効な値を1つ以上指定します ([「有効なフィルターの値」](#)を参照)。

4. [適用]をクリックします。

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルターリングが行われた各列は、▼ [フィルター] アイコンによって示されます。

## テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。 このオプションは、特定の文字列の値で始まるエントリーの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。
文字列を含む	NNMiは、属性値に、入力したテキスト文字列値を含むインスタンスのみを表示します。 文字列の値には、1つ以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字 (*)を使用することができます。たとえば、 <b>c*m</b> は以下の値にマッチします。  <code>3com9000</code> <code>callmgr1</code>
文字列に一致する	NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。 疑問符 (?) は、1つの文字に一致させるために使用します。 アスタリスク (*) は、0個以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字として使用します。
この値以下	NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
この値以上	NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。

## 数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。 <b>注:</b> 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルターリングすることもできます。
この値以上	NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
この値以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

### 列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。 注: 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルターリングすることもできます。

### IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。

### 日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日付以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示します。
次の日付以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日付の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。 between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルターリングする場合があります。

### 有効なフィルターの値

データタイプ	説明
テキスト	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文字を区別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。

## 有効なフィルターの値, 続けて

データ タイプ	説明
列挙 リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPア ドレス	IPアドレス (IPv4またはIPv6) を入力します。2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して範囲を指定できます。  IPv4の例:  10.168.0.1 ~ 10.168.13.1  10.2.120.0/21  IPv6の例 (i-Advancedのみ):  2001:d88:a00:: - 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff  2001:d88:0:a00::/56
日付 と時 刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。  <b>注:</b> NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

## 関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(56ページ\)](#)

[「NULL値のフィルターを使用する」\(60ページ\)](#)

## NULL値のフィルターを使用する

NNMiでは以下のフィルターオプションが備わっており、属性が値を含むか否かに基づいてビューをフィルターリングできます。以下のフィルターオプションは、値を必要としないデータ型に対して表示されません。

- 空でない
- 空である

NULL値に基づいてビューをフィルターリングするには、次の操作を行います。

1. フィルターリングの対象となる列または属性の値を右クリックします。
2. [下の表](#)で説明するフィルターオプションの中から選択します。
3. NNMiは、フィルターオプションおよび指定または選択した任意の属性値に基づいて選択された、すべてのインスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルターリングが行われた各列は、▼ [フィルター] アイコンによって示されます。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

### フィルターの選択肢

フィルターオプション	説明
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。

### 関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(56ページ\)](#)

## テーブルビューフィルターを変更する

テーブルビューのフィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

フィルターを変更するには、次の操作を行います。

1. フィルターリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. **[フィルターの変更...]**を選択します。  
次のことに注意してください。
  - 選択したテーブル列に対してフィルターを定義していない場合、**[フィルターの変更...]** オプションは表示されません。
  - この値と等しくないフィルターを使用した既存の属性値がある場合、追加属性値を選択して、この値とも等しくないを選択できます。
  - NNMiは、選択した列のデータ型に対応する**[フィルター]** ダイアログを表示します。テキスト(文字列)またはIPアドレスデータタイプの**[この値と等しくない]** オプションを使用してフィルターが作成された場合、NNMiは現在のフィルターの値を含めません。
3. 表示された**[フィルターの変更...]** ダイアログで、次の手順を実行します。
  - a. フィルターオプションを選択します ([「フィルターオプション」表](#)を参照)。
  - b. 有効な値を1つ以上指定します ([「有効なフィルターの値」](#)を参照)。
4. **[適用]** をクリックします。

NNMiは以前のフィルターを新しいフィルター値で置き換えます。NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルターリングが行われた各列は、▼**[フィルター]** アイコンによって示されます。

## テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	<p>NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。</p> <p>このオプションは、特定の文字列の値で始まるエントリーの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。</p>
文字列を含む	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <p>文字列の値には、ワイルドカード (*)を使用することもできます。</p> <p>ワイルドカードを指定しないと、フィルターオプションは入力した値の文字列に完全に一致する値を検索します。たとえば、以下の値のリストからCisco1デバイスのみを検索する場合は、値の文字列として「Cisco1」を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco1</li> <li>• Cisco12</li> <li>• Cisco123</li> </ul> <p>この例では、NNMiはCisco12およびCisco123は含みません。</p>
文字列に一致する	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <p><b>注:</b> NNMiに* (アスタリスク)を照合させる場合以外は、文字列値内でアスタリスク (*)を使用しないでください。</p>
この値以下	<p>NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p>
この値以上	<p>NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p>

## 数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	<p>NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。</p>
等しくない	<p>NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。</p>

## 数値フィルターのオプション, 続けて

フィルターオプション	説明
この値以上	NNMiはアルファベット (辞書編集的) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
この値以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

## 列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。

## IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。

## 日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日時以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示します。
次の日時以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日時の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。  between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルターリングする場合です。

## 有効なフィルターの値

データタイプ	説明
テキ	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文字を区

## 有効なフィルターの値, 続けて

データ タイプ	説明
スト	別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。
列挙 リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPア ドレス	IPアドレス (IPv4またはIPv6) を入力します。2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して範囲を指定できます。  IPv4の例:  10.168.0.1 ~ 10.168.13.1  10.2.120.0/21  IPv6の例 (i-Advancedのみ):  2001:d88:a00:: - 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff  2001:d88:0:a00::/56
日付 と時 刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。  注: NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

## 関連トピック

[「ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルターリングする」\(53ページ\)](#)

[「属性値でフィルターリングする」\(56ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(64ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(65ページ\)](#)

## フィルターを削除する

NNMiでは、選択した列に対するフィルターはいつでも削除できます。

フィルターを削除するには、次の操作を行います。

1. フィルターを削除する列を右クリックします。
2. ドロップダウンメニューから[フィルターの削除]を選択します。

NNMiは、その列に設定されていた既存のフィルターをすべて削除します。

## 関連トピック



[「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)


[「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)



[「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)

## デフォルトフィルターを復元する

ビューのデフォルトフィルターは復元できます。このオプションは、現在のビューに定義したフィルターをすべて削除します。

デフォルトのフィルター設定を復元するには、次の操作を行います。

テーブルのツールバーで、 [デフォルトフィルターの復元] アイコンをクリックします。

注: フォーム内でテーブルを表示している場合は、 [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンを使用してそのテーブルを新しいウィンドウで開き、 [デフォルトフィルターの復元] アイコンをクリックします。

すべてのフィルターがデフォルト値にリセットされ、現在のビューに対して作成したフィルターはすべて削除されます。

注: ビュー内で選択している内容はすべて失われます。

### 関連トピック

[「現在のフィルター設定を表示する」\(65ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(64ページ\)](#)

## 現在のフィルター設定を表示する

作成したフィルターを把握するには、列に設定されたフィルターを列ベースで表示できます。

列のフィルターを表示するには、次の操作を行います。

目的の列にマウスを重ねます。

以下の例は、フィルターオプションおよびそのフィルターに入力された文字列を表わしています。

以下の表では、各フィルターオプションに使用される記号を説明しています。

### フィルターの定義

記号	フィルターオプション
<=	この値以下
>=	この値以上
=	この値に等しい
NOT IN	この値と等しくない
IS NULL	空である

## フィルターの設定, 続けて

記号	フィルターオプション
IS NOT NULL	空でない
LIKE	文字列を含む... 文字列で始まる... 文字列に一致する...

注: パーセント記号 (%) は、ワイルドカード文字を表します。

## 関連トピック

[「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)




[「テーブルビューフィルターを変更する」\(61ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(64ページ\)](#)


## テーブルデフォルトを復元する

以下の表に記載されたような種類のテーブルビューのカスタマイズを削除することができます。カスタマイズが不要になった場合、または保存可能なカスタマイズの最大数に達した場合には、カスタマイズを削除してください。保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細は、[「ビュー設定を制限する」\(68ページ\)](#)を参照してください。

テーブルビュー設定の限界に達する恐れがある場合は、重要でないテーブルのビュー設定を削除します。

注:  [デフォルトフィルターの復元] アイコンおよび  [デフォルト設定の復元] アイコンは、フォーム内のテーブルビューには表示されません。フォームに表示されているテーブルビューから設定を削除する場合は、 [新しいウィンドウで表示] アイコンを使用して新しいウィンドウでテーブルビューを開き、これらの操作を行います。

## デフォルトのテーブルビュー設定を復元

削除できるもの	方法	説明
テーブルビューフィルターのみのみ	ビュー表示パネルのツールバーから、  [デフォルトフィルターの復元] を選択します。	テーブルビューのフィルターへのすべてのカスタマイズを削除し、ビューをそのデフォルトフィルター設定でリフレッシュします。
すべてのテーブルビューに対するすべてのカスタマイズ	[ビュー] → [デフォルトのビュー設定をすべて復元] を選択します。	すべてのテーブルビューのカスタマイズに関するすべてのカスタマイズ (およびcookie) を削除します。NNMiがcookieを使用してテーブルビューのカスタマイズを保存する方法の詳細は、 <a href="#">「ビュー設定を制限する」(68ページ)</a> を参照してください。

## 関連トピック

[「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(48ページ\)](#)

## テーブル情報をエクスポートする

テーブルビューの内容をエクスポートして他のアプリケーションで使用できます。選択した行のみをエクスポートするか、テーブル内のすべての行をエクスポートするかを選択できます。

**注:** テーブル情報をエクスポートするには、最低でもオペレーターレベル1のロールが必要です。

テーブル情報を印刷する場合は、次のことに注意してください。

- テーブル情報の最初の列は、エクスポートされるバージョンには表示されません。この列の内容は、選択を目的としたものです。
- ホスト名のリストを得るなど、追加の編集や処理のために、テーブルデータをMicrosoft Excelなどの他のアプリケーションにコピー&ペーストすることができます。

選択したテーブルの行をエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. テーブル内の任意のセルまたは列を右クリックします。
2. **[CSVにエクスポート]** を選択します。  
NNMiは、**[CSVにエクスポート]** ダイアログを表示します。
3. **[選択した行]** を選択します。
4. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 **[カラムヘッダーを含める]** チェックボックスをクリックしてオンにします。
5. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみをエクスポートします。  
日付と列挙値の両方について処理前の (コンピューターが判読できる) 形式のみを含めるには、**[処理前のデータ]** オプションを選択します。  
日付と列挙値の両方についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみを含めるには、**[ローカライズされたデータ]** オプションを選択します。
6. **[ファイルのダウンロード]** ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
  - a. **[開く]** を選択するとファイルコンテンツを表示します。
  - b. **[保存]** を選択すると指定したファイル名でファイルを保存します。

テーブルのすべての行をエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. テーブル内の任意の列を右クリックします。
2. **[CSVにエクスポート]** を選択します。  
NNMiは、**[CSVにエクスポート]** ダイアログを表示します。
3. **[すべての行]** を選択します。
4. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 **[カラムヘッダーを含める]** チェックボックスをクリックしてオンにします。
5. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみをエクスポートします。  
  
日付と列挙値の両方について処理前の (コンピューターが判読できる) 形式のみを含めるには、**[処理前のデータ]** オプションを選択します。  
  
日付と列挙値の両方についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみを含めるには、**[ローカライズされたデータ]** オプションを選択します。
6. **[ファイルのダウンロード]** ダイアログで、次のいずれかのオプションを選択します。
  - a. **[開く]** を選択するとファイルコンテンツを表示します。
  - b. **[保存]** を選択すると指定したファイル名でファイルを保存します。

#### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルターリングする」\(51ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(48ページ\)](#)

## ビュー設定を制限する

NNMiは、以下の種類のテーブルビュー設定を自動的に保存します。

- 列の幅
- 非表示の列
- 列および順序のソート
- フィルター

テーブルビューをカスタマイズするには、以下のことに注意してください。

- 各テーブルのすべての設定は、そのテーブルに対応するcookieの中に保存されます。
- 設定を保存できるテーブルの数、および制限に達した場合の動作は、使用するブラウザに依存します。

Internet Explorerでは、最も古いcookieが破棄され、カスタマイズの作成を続行できます。Internet Explorerを使用している場合は、cookieの制限値は48です。

Mozilla Firefoxを使用している場合、cookieの上限数は48です。48の上限に達すると、Mozilla Firefoxは、最新のcookieを作成する前に、最後から2番目のcookieを削除します。

- テーブルビューの設定は、オペレーティングシステムの各ユーザーに特有のものです。そのため、別のオペレーティングシステムにログオンする場合は、ビューの設定が異なることになります。異なるNNMiユーザーとしてサインインしても、オペレーティングシステムが同じであれば、ビューの設定は同じです。

**注:** NNMiでは、最後のcookieおよび後続のテーブル設定が保存される際に、警告メッセージが表示されます。

[ツール] → [デフォルトのビュー設定をすべて復元]を使用して、すべてのテーブルのカスタマイズを削除できます。詳細は、[「テーブルデフォルトを復元する」\(66ページ\)](#)を参照してください。

### 関連トピック

[「デフォルトフィルターを復元する」\(65ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(48ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(47ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(48ページ\)](#)

## マップビューを使用する

マップビューは、ネットワークに関する情報を表示する強力なツールです。マップビューでは、ノード、インタフェース、IPアドレス、およびサブネットがマップ上の記号として表現されます。ノードおよびインタフェース間のラインは、これらのオブジェクト間の接続または関係を表わします。

各記号の背景の形状は、ルーターやスイッチなどのデバイスの種類を示します。[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)を参照してください。この背景の形状の色は、デバイスの現在のステータスを示します。マップの色に関する詳細は、[「ステータス色について」\(73ページ\)](#)を参照してください。

マップでは、正面イメージが背景形状の上に配置されます。前面のイメージは、ネットワークデバイスの製造元およびモデルを識別します。

マップビューには、[トポロジマップ] および [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスします。また、マップビューは、テーブルビューから[\[アクション\]](#)メニューを使用して開くこともできます。詳細は、[「NNMiが提供するマップにアクセスする」\(87ページ\)](#)および[「アクションを使用してタスクを実行」\(106ページ\)](#)を参照してください。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[\[アクション\]](#)メニューにアクセスできます。


表示中のマップのタイプに従って、NNMiは、マップ上の他の種類のオブジェクトを記述するために追加工具を使用します。

[「ノードグループマップオブジェクト」\(82ページ\)](#)

[「レイヤー2の近隣接続ビューマップオブジェクト」\(83ページ\)](#)

[「レイヤー3の近隣接続ビューマップオブジェクト」\(85ページ\)](#)

[「パスビューマップオブジェクト」\(86ページ\)](#)

注: NNMi管理者は、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除できます。マップツールバーの  [リフレッシュ] アイコンを使用してマップが更新されるまで、削除されたノードは透明なアイコンとして表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、**検出の初期進行状態とネットワーク概要** マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

マップビューの中では、次の操作を実行できます。

- [「オブジェクトに関する詳細にアクセスする\(フォームおよび\[分析\] ペイン\)」\(17ページ\)](#)
- [「ビューをリフレッシュする」\(46ページ\)](#)
- [「マップレイアウトを変更する」\(70ページ\)](#)
- [「ズームの倍率を調整する」\(71ページ\)](#)
- [「マップをパン表示する」\(71ページ\)](#)
- [「マップのノードステータスをリフレッシュする」\(72ページ\)](#)
- [「マップのツールのヒント情報を制御する」\(73ページ\)](#)

Mozilla Firefoxブラウザの使用中にタイムアウトの問題(たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる)が発生する場合は、[「Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する」\(13ページ\)](#)を参照してください。

#### 関連トピック

[「テーブルビューを使用する」\(47ページ\)](#)

## マップを移動する

NNMiでは、以下のように、マップビュー内で移動できます。

[「マップレイアウトを変更する」\(70ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(71ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(71ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(72ページ\)](#)

## マップレイアウトを変更する

マップ上のシンボルを異なるレイアウトで表示する場合、その配置を変更できます([「マップの記号について」\(78ページ\)](#)を参照)。

マップのレイアウトを変更するには、次の操作を行います。

マップシンボルをクリックし、マップ上の目的の位置にドラッグします。

この配置は、マップを更新するか、リロードするまで保持されます。

ロールで許可されている場合、ノードグループマップでマップシンボルを手動で再配置し、その位置設定を保存できます。詳細は、[ヘルプ] → [オペレーター用のヘルプ]を参照してください。

#### 関連トピック

[「ズームの倍率を調整する」\(71ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(71ページ\)](#)


[「マップ内でノードを検索する」\(72ページ\)](#)

## ズームの倍率を調整する

マップの一部を拡大するには、マップツールバーのボタンを使用してズームの倍率を調整します  
([「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)を参照)。


ズームを調整するには、以下のツールバーアイコンまたはキーボード文字を選択します。

- ズームインする場合は、次のいずれかの操作を行います。


-  をクリックします。
- + (プラス記号) を押します。

**注:** 数値キーパッドの+ (プラス記号) は使用しないでください。


- ズームアウトする場合は、次のいずれかの操作を行います。

-  をクリックします。
- - (マイナス記号) を押します。

- マップを画面サイズに合わせるには、次のいずれかの操作を行います。

-  をクリックします。
- = (等号) を押します。

- マップを100パーセント (実際のサイズ) で表示するには、次のいずれかの操作を行います。

-  をクリックします。
- 1 を押します。

NNMiは、必要に応じて、マップにスクロールバーを表示します。

### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(70ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(71ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(72ページ\)](#)

## マップをパン表示する

目的のノードがマップ上で見えにくい場合は、マップ上の他のセクションに移動できます。

マップ上の他のセクションへパンするには、次の操作を行います。

マップのスクロールバーを使用して、マップの他のセクションへ移動します。

### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(70ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(71ページ\)](#)

## マップ内でノードを検索する


マップ内の特定のノードを簡単に検索できます。

現在のマップ内でノードを検索するには、次の操作を実行します。

1. マップツールバーで、[検索] ボタンをオンに切り替えます。



2. テキストボックス  で、次のいずれかを行います。

- このマップ内での選択項目すべてを示すリストを表示するには、 ドロップダウンアイコンをクリックします。リストから任意の項目を選択してください。
- マップ内で検索するノードの[名前]属性の値 (大文字と小文字を区別しない)を入力します。これは、マップアイコンのラベルとなる、[ノード] フォームの[名前]属性の値です。

入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。

3. NNMiは、[名前]属性の値が、選択された値と一致するノードを選択します。必要な場合、NNMiはマップの該当する領域をパンします。
4. マップ内で別の場所に移動するには、[検索] ボタンをオフに切り替えます。



### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(70ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(71ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(71ページ\)](#)

## マップのノードステータスをリフレッシュする


マップビューでは、ノードのレイアウトを保持しながら、マップ上のノードステータスを更新できます。マップの1つまたは複数のノードのステータス更新にのみに関心がある場合は、この機能によってビューをすばやくリフレッシュできます。

NNMiは、マップ上のノードステータスを30秒ごとに自動的にリフレッシュします。30秒カウンターは、最後のステータスリフレッシュが完了した後に進行を開始します。

**注:** マップのリフレッシュに予想外の時間がかかる場合は、マップに表示されるノードの最大数の設定が大きすぎる可能性があります。NNMi管理者がこの値を設定できます。詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。


ノードステータスは手動で更新できます。

ノードステータスのみをリフレッシュするには、次の手順を行います。

ツールバーで  [ステータスの更新] アイコンをクリックして、マップビュー上のノードステータスを手動で更新します。



最後の更新時刻が変更され、マップ上の各ノードのステータスがリフレッシュされます。ノードの追加、削除、または並べ替え直しは行われません。接続性は再計算されません。

**注:** NNMiは、検出の初期進行状態とネットワーク概要マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。NNMi管理者は、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除できます。ビューツールバーの  [リフレッシュ] アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードは透明なアイコンとして表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。

### 関連トピック

[「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)

[「ビューをリフレッシュする」\(46ページ\)](#)

## マップのツールのヒント情報を制御する

マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置くと、現在のオブジェクトに関するツールのヒント情報が表示されます。ツールのヒント情報は、オブジェクトのフォーム内に含まれる情報のサブセットです。

マップを開くたびに、 [ツールヒント] ボタンが有効になります。

ツールのヒントのポップアップを無効にするには、 [ツールヒント] ボタンをクリックします。NNMiでは、開いている[ヒント]ダイアログボックスをすべて閉じます。

### 関連トピック

[「ビューツールバーの使用」\(33ページ\)](#)

## マップについて

NNMiが提供するマップのコンテンツの解釈法を理解するには、以下のことを知る必要があります。

[「ノードグループマップオブジェクト」\(82ページ\)](#)

[「レイヤー2の近隣接続ビューマップオブジェクト」\(83ページ\)](#)

[「レイヤー3の近隣接続ビューマップオブジェクト」\(85ページ\)](#)

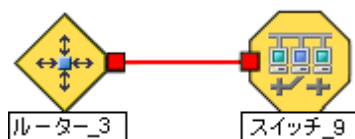
[「パスビューマップオブジェクト」\(86ページ\)](#)

[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)

[「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)

## ステータスの色について

各マップシンボルの背景形状の色は、最新の稼働状態ステータスを表します。各接続アイコン(線)の色は、各接続の最新の稼働状態ステータスを表します。例:



それぞれのインタフェースアイコンまたはアドレスアイコンの色も、最新のヘルスステータスを表わします。

NNMiは、次のように、オブジェクトの該当するステータスを計算します。

[「オブジェクトのステータスの色」\(74ページ\)](#)

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(76ページ\)](#)

## オブジェクトのステータスの色

NNMiは、次のオブジェクトに対するステータスの色を表示します。

[背景形状のステータスの色](#)

[ネットワーク接続のステータスの色](#)








次のテーブルでは、マップに表示される可能性のあるノード、インタフェース、またはIPアドレスを表す背景形状の各ステータス色の意味について説明します。

### 背景形状のステータスの色

色	意味	説明
■	認識不能	オブジェクトに到達できず、ポーリングが不可能であることを示します。
■	正常域	関連オブジェクトに関する既知の問題がないことを示します。
■	注意域	関連オブジェクトに関する問題が存在する可能性を示します。
■	警戒域	NNMiが、関連オブジェクトに関する問題を検出し、さらに調査が必要であることを示します。
■	重要警戒域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、危険域になる前にその問題を解決する必要があることを示します。
■	危険域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、すぐに対処が必要なことを示します。
■	無効	オブジェクトが管理上無効になっていることを示します。
■	ステータスなし	次のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NNMiの現在の設定では、このオブジェクトはモニタリングから除外されています。オブジェクトが[非管理対象/サービス停止中]に設定されているため、ステータスは計算されません。</li> <li>NNMiデータベースにオブジェクトが追加されたばかりで、Causal Engineがオブジェクトの稼働状態ステータスをまだ計算していません。</li> </ul>




次のテーブルで、1つのネットワーク接続のステータスの各色の意味について説明します。

## ネットワーク接続のステータスの色






色	意味	説明
	認識不能	他のネットワークの問題のために、一方のインタフェースのステータスがこの時点で調べられないことを示します。
	正常域	接続の両方のインタフェースが応答していることを示します。
	注意域	いずれかのインタフェースに問題がある可能性があることを示します。
	警戒域	ある終端のインタフェースが応答していないことを示します。もう一方の終端のインタフェースは応答しています。
	危険域	インタフェースまたはIPアドレスが応答していないことを示します。
	無効	1つのインタフェースまたは両方のインタフェースが、管理者によって無効にされていることを示します。
	ステータスなし	次のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NNMiの現在の設定では、1つのインタフェースまたは両方のインタフェースがモニタリングから除外されています。インタフェースが[非管理対象/サービス停止中]に設定されているため、ステータスは計算されません。</li> <li>NNMiデータベースにインタフェースが追加されたばかりなので、Causal Engineはインタフェースの稼働状態ステータスをまだ計算していません。</li> </ul>

次の表で、**マルチ接続**のステータスの各色の意味について説明します。

## マルチ接続のステータスの色および意味

色	意味	説明
	認識不能	マルチ接続内のすべての接続が認識不能のステータスを持つことを意味します。
	正常域	マルチ接続内のすべての接続が正常域のステータスを持つことを意味します。
	注意域	次のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチ接続内のすべての接続が注意域のステータスを持っています。</li> <li>マルチ接続内のすべての接続が同じステータスを持っているわけではありません。ただし警戒域あるいは重要警戒域のステータスを持っている接続はありま</li> </ul>

## マルチ接続のステータスの色および意味, 続けて

色	意味	説明
		せん。
	重要警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が危険域のステータスを持っています。1つの接続は、正常域、注意域、警戒域、重要警戒域のいずれかのステータスを持っています。
	警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が正常域のステータスを持っています。1つの接続のステータスは、警戒域、注意域、危険域のいずれかです。
	危険域	マルチ接続内のすべての接続が危険域のステータスを持つことを意味します。
	無効	マルチ接続内のすべての接続が無効のステータスを持つことを意味します。
	ステータスなし	マルチ接続内のすべての接続が「ステータスなし」のステータスを持つことを意味します。

## 関連トピック

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(76ページ\)](#)

## アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)

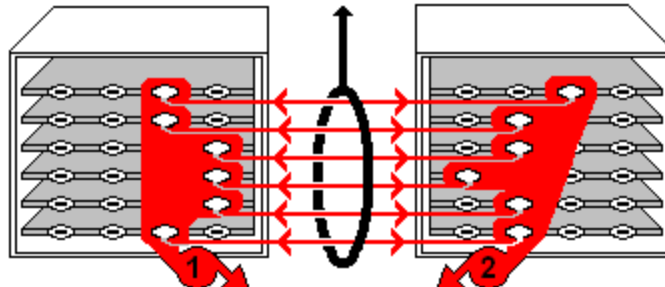
リンクアグリゲーションプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインタフェースのセットを1つのアグリゲーターインタフェースとして設定できます。他デバイスとの間に複数のインタフェースを並列して使うアグリゲーターレイヤー2接続を作成し、帯域幅を広げることによってデータの転送速度を向上し、冗長性を拡張します。

## リンクアグリゲーションの例

レイヤー2の近隣接続ビューマップの太線=

1つのアグリゲーターレイヤー2接続:

- 論理ユニット (物理ユニット以外)
- 1つの関数のような複数の関数
- 6つのアグリゲーションメンバーのレイヤ









2つのアグリゲーターインタフェース:

- 論理ユニット (物理ユニット以外)
- 1つの関数のような複数の各関数
- それぞれの6つのアグリゲーションメンバーインタフェース

[レイヤー2の近隣接続]ビューに表示される太い線は、アグリゲーターレイヤー2接続 (1つの接続として機能する複数のレイヤー2接続、アグリゲーションメンバーレイヤー2接続) を表します。その太い線の終端でインタフェースを示すアイコンは、アグリゲーターインタフェース (1つのインタフェースとして機能する多数のインタフェースを表す論理インタフェース、アグリゲーションメンバーインタフェース) を表します。詳細は、「[レイヤー2の近隣接続ビューマップオブジェクト](#)」(83ページ)を参照してください。


次の表で、アグリゲーターインタフェースのステータス色の意味について説明します。

### アグリゲーターインタフェースのステータスの色






ステータス色	ステータス	意味
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースが到達不可能で、ポーリングできないことを示します。
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースのステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーインタフェースの少なくとも1つ (ただし、すべてではない) のステータスが危険域であることを示します。
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースのステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースが管理上無効であることを示します。
	ステータスなし	次のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースがモニタリングから除外されており、ステータスが計算されていないことを示します。たとえば、デバイス全体またはアグリゲーターインタフェースが[非管理対象/サービス停止中]に設定されています。</li> <li>所属するすべてのアグリゲーションメンバーインタフェースがNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engine1によって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。</li> </ul>

次の表で、アグリゲーターレイヤー2接続のステータス色の意味について説明します。

### アグリゲーターレイヤー2接続 (太線) のステータス色

色	意味	説明
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が到達不可能で、ポーリングできないことを示します。

## アグリゲーターレイヤー2接続 (太線) のステータス色, 続けて

色	意味	説明
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーレイヤー2接続の少なくとも1つ (ただし、すべてではない) のステータスが危険域であることを示します。
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が管理上停止中であることを示します。
	ステータスなし	次のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続がモニタリングから除外されており、ステータスが未計算であることを示します。たとえば、デバイス全体または接続の両端にあるアグリゲーターインターフェースが [非管理対象/サービス停止中] に設定されています。</li> <li>所属するすべてのアグリゲーションレイヤー2接続のレイヤー2接続がNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engineによって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。</li> </ul>

## 関連トピック

[「オブジェクトのステータスの色」\(74ページ\)](#)

## マップの記号について


マップ記号はノードまたはノードグループを表します。1つのノードを表す各マップシンボルには、背景形状とそれに重ねた前面イメージがあります (デフォルトのイメージを以下の表に示します)。カスタム前面イメージで特定のベンダーとモデルを示すことができます。背景の形状は、以下の情報を表わします。

- [デバイスのタイプ](#)。
- 最新の稼働状態ステータス ([「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)を参照)。
- すべての接続:
  - レイヤー2の近隣接続ビューマップ、およびレイヤー2接続性を使用するノードグループまたはパスビューでは、親記号の周りの小さな正方形が、接続された各インターフェースを表わします。通常の太さの線は1対1の接続を示します。特別なアイコンは1対多の接続を示します。

NNMi Advanced。インターフェースアイコン間の太い線は、アグリゲーターインターフェース間で[リンクアグリゲーション](#)プロトコルを使用するアグリゲーターレイヤー2接続を表します。[[「インターフェースフォーム」](#): [「リンク集約」](#) タブ] を参照してください。

- レイヤー3近隣接続ビューマップ、およびレイヤー3接続を使用しているノードグループマップでは、親シンボルの周りの小さな六角形は、接続された各アドレスを表わします。線は1対1の接続を示します。特別なアイコンはサブネットまたは雲を示します。
- パスビューマップを除くすべてのマップで、ノードアイコン間またはノードグループアイコン間の太い線は、これらのオブジェクト間に複数の接続があることを示します。NNMiでは、**マルチ接続**という用語を使用して、これらの複数接続グループを表現します。



















マルチ接続については、次のことに注意してください。

- インタフェースまたはIPアドレスアイコンは太線のいずれの終端にも表示されません。
- マルチ接続内の個々の接続およびそれに関連付けられたインタフェースを表示するには、そのマルチ接続をダブルクリックします。
- マルチ接続の個々の接続を展開したビューを折りたたむには、 [更新] アイコンを使用してマップを更新します。
- マルチ接続に関するサマリー情報を表示するには、そのマルチ接続の上にマウスのカーソルを置きます。
- パスビューマップで接続の終端に黒の矢印または白抜き黒丸が表示される場合は、接続またはインタフェースがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。接続またはインタフェースがNNMiデータベースに保存されていない理由には次の例が挙げられます。
  - パスのノードが非SNMPノードであるため、NNMiでその情報を収集できない。
  - パスのノードがNNMiで管理されていない。
  - ノードの検出情報が最新の状態ではない(インタフェース情報がないなど)。









各子ノードグループには、小さな六角形の背景形状がありますが、前面イメージはありません。

**注:** NNMiは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のような他のアプリケーションと統合できます。NNMi管理者はNNMiの前景イメージもカスタマイズできます。したがって、以下の表で説明していない前面形状が表示される場合があります。追加された前面形状にご不明な点がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。



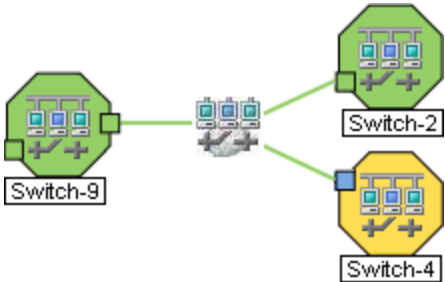



### 特定のデバイスの前面および背景の形状

背景形状	前面形状/意味	背景形状	前面形状/意味
	 = シャーシ  = コンピューター  = サーバー  = ワークステーション  = その他 注: 「その他」には、非SNMPノードが含まれます。		 = アナライザー  = ファイアウォール  = ロードバランサー  = ネットワーク機器  = 電源  = Printer  = ワイヤレスアクセスポイント
	 = ATMスイッチ  = スイッチ		 = ゲートウェイ

特定のデバイスの前面および背景の形状, 続けて

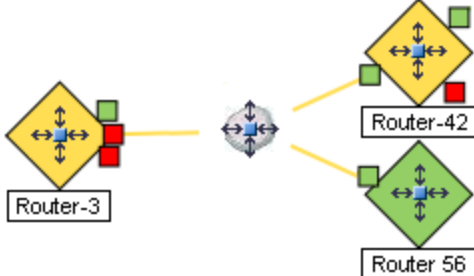

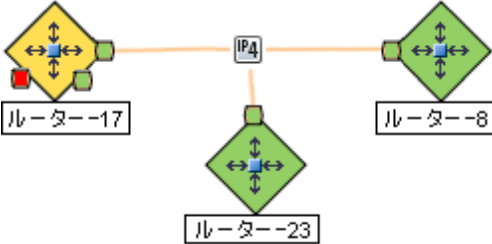

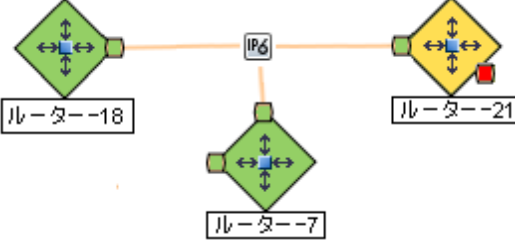

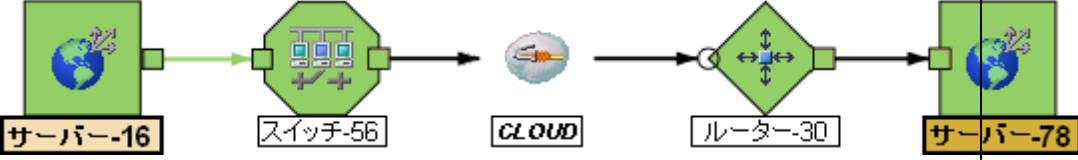
背景形状	前面形状/意味	背景形状	前面形状/意味
			 = ハブ  = ルーター  = スイッチルーター  = ボイスゲートウェイ
	子ノードグループ		 = IPフォン
	ネットワーク		

特別な接続のアイコン

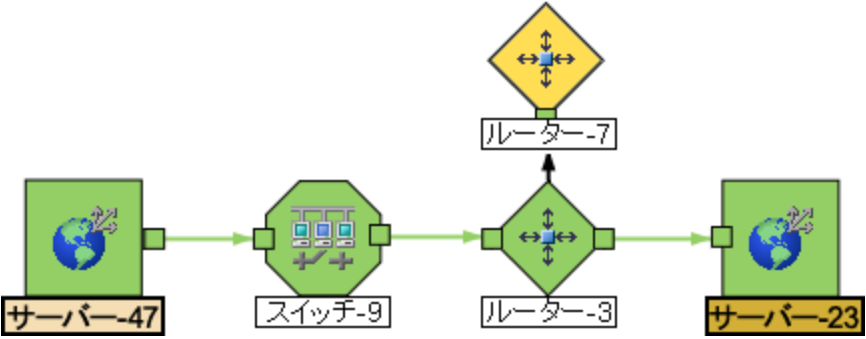
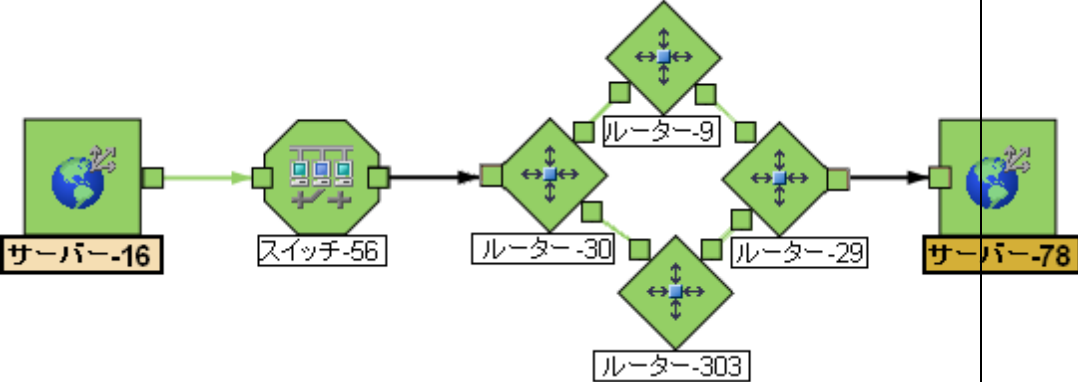


アイコン	意味
	<p>ハブやメッシュのような共有メディアが複数のデバイスに接続されているとNNMiで判断した場合に、マップ内でポイントツーマルチポイント (複数のインターフェースを持つ接続) を表現するために使用されます。例は、ここをクリックしてください。</p> <p>線または  アイコンをクリックすると、<a href="#">[レイヤー2接続] フォーム</a>が表示されます。</p> 
	<p>WAN (広域ネットワーク) にまたがったポイントツーマルチポイント (複数のインターフェースを持つ接続) レイヤー3エッジ接続をマップ内で表現するために使用されます。  アイコンは、マップ上の2つのノード間の未確認のデバイスセットを表します (多くの場合、サービスプロバイダーのネットワークまたはWAN)。例は、ここをクリックしてください。</p> <p>NNMiでは、28 ~ 31の間の事前に設定された長さで、サブネットの特別なルールに従うことによってこのことを実施します。この特別なルールは、「サブネット接続ルール」と呼ばれます。このルールは、NNMi管理者が設定できます。</p> <p>線または  アイコンをクリックすると、<a href="#">[レイヤー2接続] フォーム</a>が表示され、トポロジソースの値はSUBNETCONNECTIONになります。</p>



特別な接続のアイコン, 続けて

アイコン	意味
	
	<p>IPv4サブネットを表すために使用されます。例は、ここをクリックしてください。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) IPv6サブネットを表すために使用されます。例は、ここをクリックしてください。</p> 
	<p>パシビューで使用されます。NNMiが接続を検出したものの、デバイスのIDを確認できない (SNMPへの応答がない) 場合、そのデバイスはマップ上に次のような雲のシンボルで表示されます。例は、ここをクリックしてください。</p>  <p>注: パシビューマップで黒の矢印または白抜き黒丸が表示される場合は、接続またはインタフェースがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。</p> <p>(NNMi Advanced) ルーター冗長グループに1つまたは複数のアクティブルーターがある場合、NNMiはパシのアクティブルーターを1つ選択します。以下の例に示すように、複数の</p>

特別な接続のアイコン, 続けて

アイコン	意味
	<p>可能なパスがあることを示すために、NNMiは任意の別のアクティブルーターを、選択したルーターに接続します。</p>  <p>(NNMi Advanced) ネットワーク管理者が、HP ルート分析管理システム (RAMS) からデータを収集するようにNNMiを設定している場合、パスビューでは、次の例に示すように、1つのレイヤー3クラウドを通過する複数のOSPF<sup>1</sup>等価コストパスを表示できます。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) RAMS MPLS WAN マップビューで使用されます。NNMiがネットワーク全体にわたってMPLS接続を検出する場合、その接続がクラウド記号でマップ上に示されます。例については、ここをクリックしてください。</p> 

関連トピック

[「オブジェクトの使用」\(102ページ\)](#)

ノードグループマップオブジェクト

ヒント: ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

<sup>1</sup>Open Shortest Path Firstプロトコル

ノードグループマップにはノードグループのメンバーが表示されます (NNMi管理者が定義したものです)。各ノードグループマップは、レイヤー2情報またはレイヤー3情報のどちらかを示します。

マップには、各メンバー、接続、および子ノードグループのステータスが表示されます。各自の環境のコンテキストを示すために、NNMi管理者は、背景イメージも追加します (たとえば、北米のマップ)。

NNMiでは、**重要なインシデント**<sup>1</sup>と関連するノードのマップシンボルを拡大できます。マップビューツールバーの**[重要なインシデントの表示]** ボタンを使用します ([「\[ビューツールバー: ノードグループマップ\] のツールバーアイコンの使用」](#)を参照)。



(On) = ノードグループマップが開くと、NNMiは**重要なインシデント**<sup>2</sup>のソースオブジェクトであるオブジェクトノードグループマップ上に拡大して表示します。(たとえば、ノードグループマップを表示したとき、NNMiは、未解決の根本原因インシデントに関連しているノードを拡大して表示します。)



(off) = このノードグループマップを開くと、NNMiでは**重要なインシデント**<sup>3</sup>のソースオブジェクトであるオブジェクトはノードグループマップに表示されません。

ノードの関連するインシデントを表示するには、ノードシンボルをダブルクリックします。[ノード] フォームで、[インシデント] タブを選択します。

これらのマップは、接続性ではなく、ノードグループを基礎にしているので、マップ上に接続のないノードがあることもあります。

六角形 (下図参照) は、子ノードグループを示します。



NNMiが提供するノードグループマップの詳細は、[「NNMiが提供するビュー」\(90ページ\)](#)を参照してください。

## 関連トピック

[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)

[「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)

## レイヤー2の近隣接続ビューマップオブジェクト

レイヤー2の近隣接続ビューマップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスのマップビューを表示します。このビューは、デバイス間の**スイッチの接続性**を理解するのに役立ちます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

検出中にNNMiは、ネットワーク内のイーサネットスイッチから転送データベース (FDB) テーブルを読み取り、その情報に基づいてネットワークデバイス間の通信パスを判別します。NNMiは、これらのFDB

<sup>1</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連処理特性が根本原因、サービスインプクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

<sup>2</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連処理特性が根本原因、サービスインプクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

<sup>3</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連処理特性が根本原因、サービスインプクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

テーブルで検出対象ノードに関する情報を検索します。NNMi管理サーバーで**MACアドレス**<sup>1</sup>を重複するFDBデータが検出された場合:

- 検出された複数のノード (同一テナント内のノード、またはデフォルトテナントのノードとそれ以外のテナントのノード) に同じMedia Access Control (MAC) アドレスに関連付けられたインターフェースが含まれている場合、NNMiは、FDB内でそれらの重複MACアドレスに対して報告された通信パスを無視します。これにより、それらの重複MACアドレスを含むネットワーク域のNNMiマップで接続が欠落する場合があります。

(NNMi Advanced - グローバルネットワーク管理機能) 2つのNNMi管理サーバーが、同じMAC (Media Access Control) アドレスに関連するインターフェースを持つノードを検知した場合は、グローバルNNMi管理サーバーのマップで、リージョナルNNMi管理サーバーのマップで可視できる接続が欠落している可能性があります。

- 単一のノードに、同じMACアドレスを持つ複数のインターフェースが含まれている場合、NNMiは、それらのインターフェースに関するすべての通信パス情報を収集し、その情報をNNMiマップに表示します。

データベース (FDB) 情報を転送すると、次の場合にNNMiが誤ったレイヤー2接続を確立する可能性があります。

- FDBがキャッシュとして設定されており、使用されていないデータが含まれている。
- それぞれ異なる (場合によっては競合する) FDBデータを生成するさまざまなベンダーのハードウェアがネットワーク環境に含まれている。

オプション: NNMi管理者は、レイヤー2接続の計算時に特定のノードグループのFDBデータを無視するようにスパイラル検出を設定できます (FDBデータは他の計算には含まれます)。

レイヤー2の近隣接続ビューマップでは、インターフェースは、親ノードの背景形状の周りの小さな正方形で示されます。各インターフェースには、ステータスを表す色もあります。緑は、そのインターフェースが適切に動作していることを示します。赤は、そのインターフェースが停止していることを示します。

接続線	接続線の意味
	<p>デバイス間の細い線は、2つのデバイス間の通信チャンネル (接続) を表しています。線は、ステータス色でその接続の現在の稼働状態を示します。<a href="#">「オブジェクトのステータスの色」(74ページ)</a>を参照してください。</p>
	<p>NNMi Advanced。太い線 (接続) は <a href="#">(リンクアグリゲーション)</a> プロトコルを使用されていることを示します。このプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインターフェースのセットを1つのアグリゲーターインターフェースとして設定できます。他デバイスとの間に複数のインターフェースを並列して使うアグリゲーターレベル2接続を作成し、帯域幅を広げることによってデータの転送速度を向上し、冗長性を拡張します。</p> <p>太い線 (アグリゲーターレイヤー2接続) をダブルクリックすると、太</p>

<sup>1</sup>工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワーク機能を装備したデバイスに焼き付けられるMAC (Media Access Control) アドレス (ハードウェアまたは物理的アドレス)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンのダッシュで区切られています。  
例 02:1F:33:16:BC:55

接続線	接続線の意味
	<p>い線が複数の細い線に変換されます。細い線はそれぞれがアグリゲーションメンバーレイヤー2接続を表します。</p> <p>NNMiは、アグリゲーションメンバーレイヤー2接続のグループ全体のステータスに基づき、太い線 (アグリゲーターレイヤー2接続) のステータスを計算します。詳細は、<a href="#">「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)」(76ページ)</a>を参照してください。</p> <p><b>注:</b> 終端のいずれにもインタフェースアイコンがない太い線は、アグリゲーターレイヤー2接続ではなく、<b>複数接続<sup>1</sup></b>です。</p>

レイヤー2近隣接続ビューマップの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

#### 関連トピック

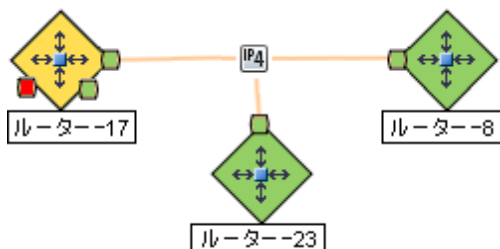
[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)

[「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)

### レイヤー3の近隣接続ビューマップオブジェクト

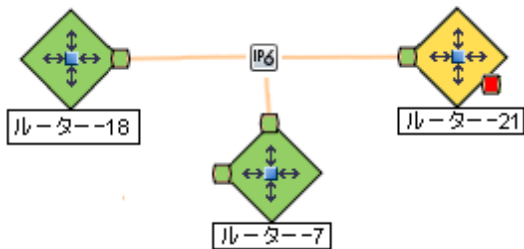
レイヤー3の近隣接続ビューマップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスを示します。このビューは、デバイス間のルーターの接続性を理解するのに役立ちます。

レイヤー3の近隣接続ビューマップでは、同一のサブネット内の近隣に接続されたアドレスは、親ノードの背景の形状の周りの6角形で示されます。各アドレスには、ステータスを表す色があります。緑は、そのアドレスが適切に動作していることを示します。赤は、そのアドレスが応答しないことを示します。デバイス間の線はサブネットを表します。サブネットにはステータスがありません。



NNMi Advanced。IPv6サブネットは、次のシンボルで示されます。

<sup>1</sup>複数接続は、マップビューにある2つの[ノード]アイコン、2つの[ノードグループ]アイコン、または[ノード]アイコンと[ノードグループ]アイコン間の太線です(太線のいずれかの終端に[インタフェース]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します([ユーザーインタフェースの設定]の[複数接続しきい値]属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インタフェース]アイコンまたは[IPアドレス]アイコンが線のいずれかの終端に表示されます。



レイヤー3近隣接続ビューマップの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

### 関連トピック

[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)

[「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)

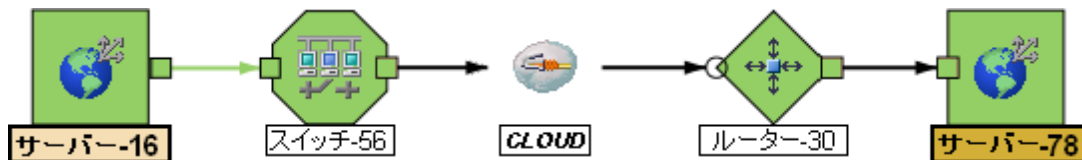
## パスビューマップオブジェクト

パスビューマップは、ソースおよび宛先の端点間のアクティブネットワークパスを表示します。

パスビューマップで表示されるパスの主要なオブジェクトは、ルーターとスイッチです。

**注意:** パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。

NNMiでは、パスの部分内のノードを決定できない場合、次の例のように、曇オブジェクトが使用されます。



パスビューマップで接続の終端に黒の矢印または白抜き黒丸が表示される場合は、接続またはインタフェースがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。詳細は[ここをクリックしてください](#)。

接続またはインタフェースがNNMiデータベースに保存されていない理由は次のとおりです。

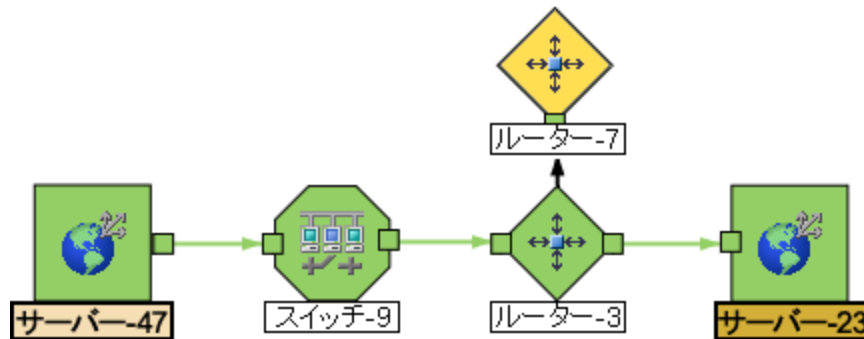
- パスのノードが非SNMPノードであるため、NNMiでその情報を収集できない。
- パスのノードがNNMiで管理されていない。
- ノードの検出情報が最新の状態ではない(インタフェース情報がないなど)。

パスビューマップには、レイヤー2近隣接続ビューマップとレイヤー3の近隣接続ビューマップに含まれるオブジェクトも表示されます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

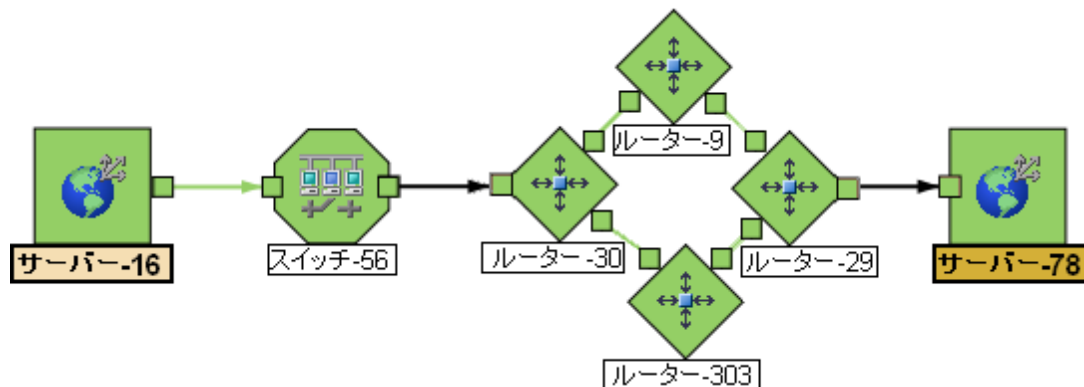
NNMi Advanced。パスビューで使用するのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

(NNMi Advanced) ネットワーク管理者が、複数のアクティブルーターを持つルーター冗長グループからデータを収集するようにNNMiを設定している場合、NNMiでは、パスに対して1つのアクティブルーター

を選択します。NNMiは、複数の可能なパスがあることを示すため、次の例に示すように追加ルーターすべてをアクティブルーターに接続します。



(NNMi Advanced) ネットワーク管理者が、ルート分析管理システム (RAMS) からデータを収集するようにNNMiを設定している場合、パスビューでは、次の例に示すように、1つのレイヤー3クラウドを通過する複数のOSPF<sup>1</sup>等価コストパスを表示できます。



#### 関連トピック:

[「マップの記号について」\(78ページ\)](#)

[「ステータスの色について」\(73ページ\)](#)

## NNMiが提供するマップにアクセスする

以下の方法でマップにアクセスできます。

- テーブルビューから[アクション]メニューを使用する
- [トポロジマップ] ワークスペースおよび [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスする

#### テーブルビュー

テーブルビューからマップビューを表示するには

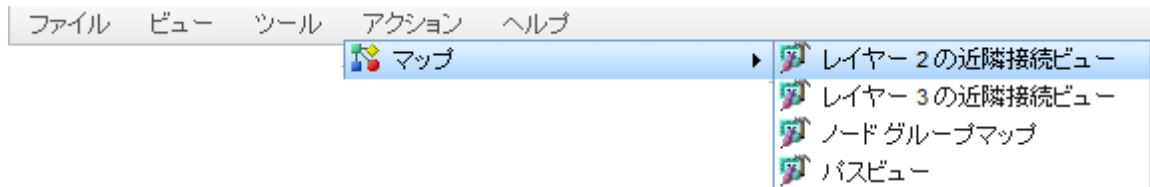
[アクション]メニューの使用の詳細は、[「アクションを使用してタスクを実行」\(106ページ\)](#)を参照してください。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルで、必要なテーブルビューを選択します。(たとえば、[インベントリ] ワークスペース、[ノード]ビューを選択します。)

<sup>1</sup>Open Shortest Path Firstプロトコル



2. テーブルビューで、目的のオブジェクトがある行をクリックします。
3. メインツールバーの[アクション]メニューを使用して、必要なマップビューを選択します。



注: フォームの[アクション]メニューからマップビューにアクセスすることもできます。詳細は、「[NNMi コンソールについて](#)」(9ページ)を参照してください。

ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューにアクセスできます。

起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

4. レイヤー2近接ビューまたはレイヤー3の近接ビューのどちらかを表示している場合は、マップビューが表示された後、**ホップ**の数を変更できます。

[ホップ数]ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は「9」です。

#### トポロジマップワークスペース

ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。

1. [トポロジマップ] ワークスペースを選択します。
2. 目的の[ノードグループマップ]名を選択します。

#### トラブルシューティングワークスペース

- レイヤー2またはレイヤー3の近隣接続ビューマップを表示するには、次の操作を実行します。
  - a. [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
  - b. 生成するマップのタイプを選択します。
  - c. レイヤー2近隣接続ビューおよびレイヤー3近隣接続ビューのマップで、ノード名またはIPアドレスのいずれかを使用して開始ノードを指定します。起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

注: ノード名またはIPアドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPアドレスがリストに表示されます。


- d. マップビューが表示されたら、**ホップ**の数を変更できます。  
[ホップ数]ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は「9」です。
- パスビューを表示するには、次の操作を行います。
    - a. [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
    - b. [パスビュー]を選択します。



- c. [ソース] フィールドおよび [デスティネーション] フィールドに、ノード名またはIPv4アドレスのどちらかを指定して、パスの両端にあるノードを指定します。

**注:** ノード名またはIPv4アドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPv4アドレスがリストに表示されます。

NNMi Advanced。パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

- ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。
  - a.  [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
  - b. [ノードグループマップ] を選択します。
  - c. [ノードグループ] フィールドで、表示するノードを含むノードグループの名前を指定します。

**注:** ノードグループ名を入力し始めると、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前 (大文字と小文字は区別されます) がリストに表示されます。

## 第8章

### NNMiが提供するビュー

NNMiでは、管理対象のデバイスのステータスを判断するために、すぐに使用できるビューがいくつか表示されます。これらのそれぞれについて、以下の表で説明します。

注: 表示されるビューは、NNMiユーザーロールによって異なる場合があります (ここで説明するビューの一部が表示されないことがあります)。

- [インシデントの管理のビュー](#)
- [トポロジマップのビュー](#)
- [ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー](#)
- [トラブルシューティングを支援するビュー](#)
- [インベントリリストを含むビュー](#)
- [管理モードのビュー](#)
- [インシデントの参照のビュー](#)

#### インシデントの管理のビュー

ビューのタイトル	説明						
重要な未解決インシデント	ネットワークオペレーターにとってきわめて重要で、即座のアクションが必要なインシデント (すべての <b>キーインシデント</b> ) を示します。重要な未解決インシデントのビューには、 <b>相関処理特性</b> が次のいずれかであるインシデントが含まれます。 <table border="1"><thead><tr><th>相関処理特性</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>根本原因</td><td>問題の根本原因を報告するインシデントを示します。</td></tr><tr><td>サービスインパクト</td><td>NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスイ</td></tr></tbody></table>	相関処理特性	説明	根本原因	問題の根本原因を報告するインシデントを示します。	サービスインパクト	NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスイ
相関処理特性	説明						
根本原因	問題の根本原因を報告するインシデントを示します。						
サービスインパクト	NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスイ						

インシデントの管理のビュー, 続けて

ビューのタイトル	説明												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="456 317 532 541">相関処理特性</th> <th data-bbox="532 317 1385 541">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="456 541 532 779"></td> <td data-bbox="532 541 1385 779"> <p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 779 532 1037">ストリームの相関処理</td> <td data-bbox="532 779 1385 1037"> <p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1037 532 1367">レートの相関処理</td> <td data-bbox="532 1037 1385 1367"> <p>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1367 532 1457">情報</td> <td data-bbox="532 1367 1385 1457"> <p>この相関処理特性は参考情報です。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 1457 532 1528">なし</td> <td data-bbox="532 1457 1385 1528"> <p>このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	相関処理特性	説明		<p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p>	ストリームの相関処理	<p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。</p>	レートの相関処理	<p>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</p>	情報	<p>この相関処理特性は参考情報です。</p>	なし	<p>このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</p>
相関処理特性	説明												
	<p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>ンパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p>												
ストリームの相関処理	<p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。</p>												
レートの相関処理	<p>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</p>												
情報	<p>この相関処理特性は参考情報です。</p>												
なし	<p>このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</p>												
未割り当ての重要な未解決インシデント	<p>まだ割り当てられていない未解決 <b>キーインシデント</b>が表示されます。このビューは、割り当てされる最新のキーインシデントを識別するのに便利です。</p>												
自分の未解決インシデント	<p>現在のユーザーに関連付けられている名前に割り当てられているインシデントを表示します。</p>												

トポロジマップのビュー (ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。)

ビューのタイトル	説明
ノードグループ概要	親ノードグループのないすべての(トップレベルの)ノードグループを含むマップを表示します。
検出の初期進行状態 (レイヤー3)	<p><b>ヒント:</b> トポロジマップを監視するには、ノードグループマップを作成してください。ノードグループの詳細については、「<a href="#">ノードグループを作成する</a>」を参照してください。</p> <p>レイヤー3ネットワークで最も高度に接続されたノード (最大のサブネット) を含むマップを表示します。このマップを使用して、ルーター、スイッチ、スイッチルーターの検出の初期進行状態を最大100ノードまで表示できます。</p> <p><b>注:</b> NNMiはNNMi管理者がNNMiコンソールの初期ビューをインストール時のデフォルトに設定し、ネットワークのルーター、スイッチ、およびスイッチルーターが合計100個以下である場合のみこのマップが表示されます。NNMiが100個を超えるコネクタを発見すると、このマップのビューは [重要な未解決インシデント] のテーブルビューに変わります。</p> <p>NNMiは、最大で100個のノードを表示するまで次のアルゴリズムを使用して、表示するノードを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検出したルーターに基づいて最大のサブネット (レイヤー3接続) を表示する</li> <li>表示されているサブネット内で最も高度に接続されたスイッチを表示する</li> <li>表示されているサブネット内で最も高度に接続されたノードを表示する</li> <li>合計が100になるまで残りのノードを表示する</li> </ul> <p>次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトでは、NNMiでポーリングするのは管理IPアドレスのみです。そのため、マップのIPアドレスのステータスが [ステータスなし] (□) と表示される場合があります。</li> <li>レイヤー3の接続は、NNMiで監視されないサブネットを表すため、検出の初期進行状態マップの接続は [ステータスなし] (——) と表示されます。</li> <li><b>検出の初期進行状態</b> マップには、最大100個のノードが表示されます。この最大値は変更できません。</li> </ul> <p>このマップは定期的にトポロジとステータスを更新します。更新の頻度は、ビューがユーザーによって最初に表示されたときが最も高く、徐々に低くなります。</p> <p><b>注:</b> 自動更新では、選択やズームなど、このビューへのいかなる変更もキャンセルされます。</p> <p>特定のノードのレイヤー2 (スイッチ) 接続を表示するには、対象のノードを選択して、</p>

トポロジマップのビュー (ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。), 続けて

ビューのタイトル	説明
	<p>[アクション] → [レイヤー2の近隣接続ビュー] を使用します。特定のノードのレイヤー3 (ルーター) 接続を表示するには、対象のノードを選択して、[アクション] → [レイヤー3の近隣接続ビュー] を使用します。</p> <p>ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューにアクセスできます。</p>
ネットワーク概要 (レイヤー3)	<p>このマップは検出の初期進行状態マップに類似していますが、以下のような例外があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク概要では、レイヤー3ネットワークで最も高度に接続されたノード (最大のサブネット) を250個まで含むマップを表示します。</li> <li>NNMi管理者は、表示されるノードの最大数を変更できます。NNMi管理者は、詳細について『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「[NNMiコンソール]の章」を参照してください。これは、<a href="http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals">http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals</a>から入手できません。</li> <li>更新レートは5分間です。</li> <li>NNMi管理者は、NNMiコンソールの初期ビューがネットワーク概要になるように設定しておく必要があります。</li> </ul>
ネットワークインフラストラクチャーデバイス	<p>ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャーシ</li> <li>ファイアウォール</li> <li>ボイスゲートウェイ</li> </ul> <p>注: NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p> <p>ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p>
ルーター	<p>ネットワーク内のルーターとレイヤー3接続のノードグループマップを表示します。</p> <p>ヒント: ノードグループの詳細は、「<a href="#">ノードグループおよびインターフェースグループについて</a>」(54ページ)を参照してください。</p> <p>注: ネットワーク内のノードグループの数が、マップに表示されるよう設定されたマップオブジェクトの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルターリングし、ネットワークで最大数のサブネット内にアドレスがあるインターフェースを持つルーターを表示します。</p>

トポロジマップのビュー (ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。), 続けて

ビューのタイトル	説明
	<p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p>
スイッチ	<p>ネットワーク内のスイッチとレイヤー2接続のノードグループマップを表示します。</p> <p><b>ヒント:</b> ノードグループの詳細は、「<a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a>」(54ページ)を参照してください。</p> <p><b>注:</b> ネットワーク内のノード数が、マップに表示されるよう設定されたノードの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルターリングし、最も高度に接続されるスイッチを表示します。</p> <p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p>

#### ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
正常域にないノードコンポーネント	ノードコンポーネントのヘルスに問題があるため、オペレーターの注意が必要なノードを示します。
正常域にないカード	オペレーターの注意が必要なカードを示します。
正常域にないインタフェース	オペレーターが注意する必要のあるすべてのインタフェースを特定します。
正常域にないノード	オペレーターが注意する必要のあるすべてのノードを特定します。
正常域にないSNMP	正常域でない状態のすべてのSNMPエージェントを特定します。

## ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー, 続けて

ビューのタイトル	説明
エージェント	
応答のないアドレス	応答なしの状態であるすべてのアドレスを特定します。応答なし状態は、そのアドレスがICMP pingに 応答しないことを示します。
インタフェースのパフォーマンス	(HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software) 管理対象ネットワーク内のノードに対して使用率が高すぎたり低すぎたりするインタフェースを識別できるよう支援します。
カード冗長グループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを示します。 カード冗長グループの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
ルーター冗長グループ	NNMi管理者が作成した使用可能なルーター冗長グループを示します。各ルーター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の仮想IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。  ルーター冗長グループの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
ノードグループ	NNMi管理者が作成したノードグループを表示します。NNMi管理者は、ノードグループを使用し、ホスト名や位置などのいくつかの基準に基づいてノードのグループを定義します。  ノードグループの詳細は、「 <a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a> 」(54 ページ)を参照してください。
カスタムノード収集	NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムノード収集を示します。カスタムノード収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポーラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。  カスタムノード収集の詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
カスタムポーリングインスタンス	NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムポーリングインスタンスを示します。NNMiは検出情報を使用してMIB式を初めて検証したときに、カスタムポーリングインスタンスを作成します。  カスタムポーリングインスタンスの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

## トラブルシューティングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
レイヤー2の近隣接	選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを表示します。このビューは、デバイス間の <b>スイッチの接続性</b> を理解するのに役立ちます。

## トラブルシューティングを支援するビュー, 続けて

ビューの タイトル	説明
続ビュー	ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインタフェースのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインタフェースが停止していることを示します。
レイヤー3の 近隣接続 ビュー	<p>選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを表示します。このビューは、デバイス間のルーターの接続性を理解するのに役立ちます。</p> <p>ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインタフェースのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインタフェースが停止していることを示します。</p>
パス ビュー	<p>ソースおよびデスティネーションの終点間のアクティブネットワークパスを表示します。</p> <p><b>注意:</b> パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。</p> <p>このビューは、たとえば、あるノードが別のノードと通信できない場合や、Microsoft Exchangeサーバーと通信できないクライアントPCなどの特定のノードにアクセスできない場合など、接続性の問題の診断に役立ちます。</p> <p><b>注:</b> NNMi Advanced。パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p>
ノードグループ マップ	<p>ステータスと接続属性のみならず、定義済み背景イメージのコンテキストでノードグループの定義済みメンバーを示します (たとえば、北米のマップ)。</p> <p>ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p>

## インベントリリストを含むビュー

ビューの タイトル	説明
ノード	<p>NNMiが検出したすべてのノードのステータスを表示します。</p> <p>このビューをステータスでソートすると、停止しているか、何らかの原因で無効になっているすべてのノードを表示できます。</p>
インタフェース	<p>NNMiが検出したすべてのネットワークインタフェースに関する情報を表示します。</p> <p>このビューを関連ノードの名前の値 (ホスト元ノード) でソートすると、ノードごとのすべてのネットワークインタフェースを表示できます。</p>



## インベントリリストを含むビュー, 続けて

ビューの タイトル	説明
	ビューを管理状態または運用状態でソートすると、停止しているか何らかの原因で無効になっているノードまたはインタフェースを判断するのに役立ちます。
IPアドレス	NNMiが検出したすべてのIPアドレスのホスト元ノードについてステータスを表示します ([ノード] フォーム: [IPアドレス] タブには、このビューからの関連アドレスも表示されます)。
IPサブ ネット	すべてのIPサブネットのステータスを表示します。  このビューをステータスでソートすると、現在あるいは潜在的に問題があることをステータスが示しているすべてのIPアドレスを素早く表示できます。
VLAN	ネットワーク環境内で検出されたスイッチポートVLANを表示します。1つのデバイスは、複数のVLANに参加できます。さらに、1つのポートは、複数のVLANに割り当てられません。
カード	ネットワーク環境内で検出されたカードを表示します。
ポート	ネットワーク環境内で検出されたポートを表示します。
ノードコ ンポーネ ント	
レイ ヤー2の 接続	ネットワーク環境で検出または追加された、レイヤー2接続を表示します。
管理 サーバー 別の ノード	(NNMi Advanced) 複数のNNMi管理サーバーでネットワーク環境内のワークロードを分担している場合、このビューを使用すると、各NNMi管理サーバーが検出とモニタリングを担当しているノードを識別できます。
ノード (すべて の属性)	ほとんどのノード属性の[ノード]ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
インタ フェース (すべて の属性)	ほとんどのインタフェース属性の[インタフェース]ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
IPアドレ ス(すべて の属 性)	ほとんどのIPアドレス属性のIPアドレスビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。  現在マップされているアドレスが1列に表示されます。ネットワークの一部に静的ネットワークアドレス変換 (NAT) が使用されている場合、NNMi管理者は、選択した外部IPアドレスに割り当てられた (マップされた) NAT内部IPアドレスを表示するようにNNMiを設定できます。
MIB変	NNMiデータベースにロードされているMIBから利用可能なMIB変数を示します。

## インベントリリストを含むビュー, 続けて

ビューの タイトル	説明
数	
カード冗 長グ ループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを示します。 カード冗長グループの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
ルーター 冗長グ ループ	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成した利用可能なルーター冗長グループを示します。各ルーター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の保護された(仮想)IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。ルーター冗長グループの詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
ルーター 冗長メ ンバー	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成したルーター冗長グループのメンバーを示します。
ノードグ ループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したノードグループを表示します。 ノードグループの詳細は、 <a href="#">「ノードグループおよびインタフェースグループについて」(54ページ)</a> を参照してください。
インタ フェース グループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したインタフェースグループを表示します。 インタフェースグループに関する詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
管理ス テーショ ン (6.x/7.x)	6.xまたは7.xのイベントをNNMiに転送するように設定された6.xまたは7.x管理ステーションを表示します。
MPLS WANク ラウド (RAMS)	(NNMi Advanced) NNMiによって検出されるすべてのMPLS WANの情報が表示されます。

## 管理モードのビュー

ビューのタイト ル	説明
管理対象外 ノード	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのノードを表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったノードです。
管理対象外 のインタフェ ース	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのインタフェースを表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったインタフェースです。

管理モードのビュー, 続けて

ビューのタイトル	説明
管理対象外のIPアドレス	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのアドレスを表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったアドレスです。
管理対象外のカード	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのカードを表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったカードです。
管理対象外ノードコンポーネント	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのノードコンポーネントを表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったコンポーネントです。

インシデントの参照のビュー

ビューのタイトル	説明						
重要な未解決インシデント	<p>ネットワークオペレーターにとってきわめて重要で、即座のアクションが必要なインシデント(すべての<b>キーインシデント</b>)を示します。重要な未解決インシデントのビューには、相関処理特性が次のいずれかであるインシデントが含まれます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相関処理特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>根本原因</td> <td>問題の根本原因を報告するインシデントを示します。</td> </tr> <tr> <td>サービスインパクト</td> <td> <p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNMiSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	相関処理特性	説明	根本原因	問題の根本原因を報告するインシデントを示します。	サービスインパクト	<p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNMiSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p>
相関処理特性	説明						
根本原因	問題の根本原因を報告するインシデントを示します。						
サービスインパクト	<p>NNMi 8.xxでのみ使用されます。ネットワークサービスがその他のインシデントによって影響されるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNMiSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p>						

インシデントの参照のビュー, 続けて

ビュー のタイ トル	説明										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="384 346 461 579">相 関 処 理 特 性</th> <th data-bbox="461 346 1385 579">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="384 579 461 842">スト リー ムの 相 関 処 理</td> <td data-bbox="461 579 1385 842">NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 842 461 1167">レ ー ト ス ト の 相 関 処 理</td> <td data-bbox="461 842 1385 1167">指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1167 461 1262">情 報</td> <td data-bbox="461 1167 1385 1262">この相関処理特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1262 461 1325">な し</td> <td data-bbox="461 1262 1385 1325">このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</td> </tr> </tbody> </table>	相 関 処 理 特 性	説明	スト リー ムの 相 関 処 理	NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。	レ ー ト ス ト の 相 関 処 理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。	情 報	この相関処理特性は参考情報です。	な し	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。
相 関 処 理 特 性	説明										
スト リー ムの 相 関 処 理	NNMi 8.xxでのみ使用されます。パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。										
レ ー ト ス ト の 相 関 処 理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。										
情 報	この相関処理特性は参考情報です。										
な し	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。										
解 決 済 み の 重 要 な イ ン シ デ ン ト	解決されたキーインシデントが表示されます。このビューは、解決された根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。このビューは、指定された期間内に解決されたインシデントの個数を報告するのに特に役立ちます。										
未 解 決 の 根 本 原 因 イ ン シ デ ン ト	まだ解決されていない根本原因インシデントが表示されます。このビューは、解決する必要のある根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。										
サー ビス イ ン シ デ ン ト	ネットワークサービスが影響を受けるその他のインシデントと関係があるインシデントを示します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルー										

## インシデントの参照のビュー, 続けて

ビューのタイトル	説明
パケットインシデント	<p>ター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>関連処理特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plugins (iSPIs)のみです。</p> <p>NNM iSPIの詳細は、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p>
すべてのインシデント	すべてのインシデントを示す。このビューは、特定の期間に生成されたすべてのインシデントを決定するのに便利です。
未解決のカスタムインシデント	これを使用すると、すべての未解決のインシデントの中から、ニーズに合わせて、インシデント情報の列を選択できます。たとえば、特定のデバイスセットに関連したインシデントだけをこのビューに表示するようにフィルターリングしたい場合などがあります。自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに表示するようにフィルターリングすることもできます。
カスタムインシデント	インシデント情報向けにカスタマイズされたビューを作成できます。たとえば、自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに含めるようにフィルターリングできます。
NNM 6.x/7.x イベント	ネットワーク環境内のNetwork Node Manager 6.xおよび7.x管理ステーションから転送されたすべてのインシデントを表示します。
SNMPトラップ	ネットワーク環境内のデバイスから受信したすべてのトラップを表示します。NNMi管理者は、特定のトラップがNNMiインシデントビューに表示されるように設定する必要があります。

## 関連トピック

[「テーブル情報をエクスポートする」\(67ページ\)](#)

## 第9章

### オブジェクトの使用

オブジェクトには環境およびその中で発生するイベントに関する情報のデータベースレコードです。オブジェクトタイプは、それぞれ特定の種類の情報を表しています。たとえば、インシデントオブジェクトは、環境内で発生した状況またはイベントを表します。

オブジェクトは、その属性で定義されます。たとえば、インシデントオブジェクトには、(さまざまな情報が含まれる中で)ステータス属性およびソースノードが含まれます。オブジェクトのタイプが異なれば、属性の量およびタイプも異なります。属性の値のなかには、数やテキスト文字列などの単純なものがあります。その他の属性値には、関連オブジェクトへの参照など、より複雑なものもあります。たとえば、SNMPエージェント属性が[ノード]フォームの中に表示された場合、これは選択したノードに関連するSNMPエージェントを表します。

特定のタイプのオブジェクトが、選択したオブジェクトに複数関連する場合(たとえば、あるノードに複数のインシデントが関連する場合は、フォームには、関連オブジェクト全体のリストを示す表を表示するタブが含まれます。

ビューとは、テーブルまたはマップとしてグラフを使用して描かれた、関連するオブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関するすべての保存された属性を提供します。フォーム上に示される属性は、選択したオブジェクトまたは関連オブジェクトの属性です。

オブジェクトに対して実行できる操作は、アクションと呼ばれます。アクションとは単に、単純または複雑なタスクへのショートカットです。あるアクションは、特定のオブジェクトタイプに関連付けることができます。たとえば、ノードテーブルビューを表示する場合、そのノードの隣接するレイヤー2のノードすべてを表示するマップを開くなどのアクションです。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューにアクセスできます。


テーブルビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、次の操作を行います。


オブジェクトを表す行をダブルクリックします。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。

マップビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、

以下のいずれかを行います。

- 該当するノードを選択して、 [開く] アイコンをクリックします。
- 多くの場合で、目的のオブジェクトをダブルクリックします。

**注:** マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループのノードのマップで置換されます。子ノードグループのフォームにアクセスするには、子ノードグループのオブジェクトを選択し、 [開く] アイコンをクリックします。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。


オブジェクトフォームからは、以下のことを実行できます。

[「オブジェクトの属性値の変更」\(104ページ\)](#)

[「関連オブジェクトに関するすべての情報へアクセスする」\(103ページ\)](#)

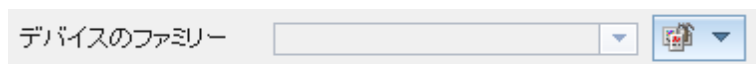
[「関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットへアクセスする」\(103ページ\)](#)

## 関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットへアクセスする



(オブジェクトのフォーム内部で)オブジェクトに備わっている情報を調べると、オブジェクト自体の属性を表す情報や、関連オブジェクトの属性を表す情報があります。関連オブジェクトは、 [検索] アイコンによって示されます。たとえば、インタフェースオブジェクトの情報を表示する場合、そのインタフェースが存在するノードに関する情報にアクセスできます。

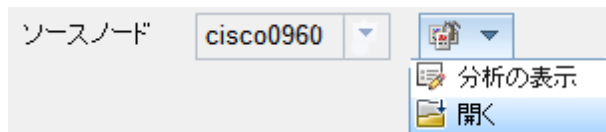
フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

以下は、検索フィールドの例です。





フォーム内部から関連オブジェクトの情報のサブセットを表示するには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示する関連オブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索] アイコンをクリックして、ドロップダウンメニューから  [分析の表示] を選択します。



3. [分析] ペインが表示され、関連オブジェクトの情報が表示されます。詳細は、[「\[分析\] ペインについて」\(30ページ\)](#)を参照してください。


**注:** NNMiには、NNMiセキュリティ設定でアクセスが許可されている情報のみが表示されます。詳細は、「管理者用のヘルプ」の[「割り当てるNNMiルールを決定する」](#)を参照してください。

4.  [リフレッシュ] アイコンにマウスを重ね、詳細の最終更新時刻を確認します。  
 [リフレッシュ] アイコンをクリックし、最新データを収集します。

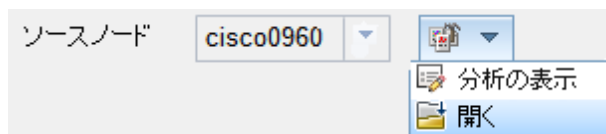
## 関連オブジェクトに関するすべての情報へアクセスする

フォームを使用してひとつのオブジェクトの詳細を調べる際には、関連する別のオブジェクトの情報にアクセスすることができます。たとえば、ノードについて保存されているすべての情報を表示する際に、そのノードのインタフェースに関して用意されているすべての情報にアクセスしてインタフェースのステータスを判断できます。



フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

表示中のフォームに含まれる任意のオブジェクトに関する別のフォームを、そのフォームの中から開くことができます。そのようなオブジェクトは  [検索] アイコンを使用して示されます。

以下は、検索フィールドの例です。



フォームの中から別のフォームを開くには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示するオブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索] アイコンをクリックし、ドロップダウンメニューから  [開く] を選択します。

そのオブジェクトのすべての属性を示す新しいフォームが表示されます。そのオブジェクト向けに指定されたデフォルト値は、すべてフォームの中にあらかじめ入力されています。

## オブジェクトの属性値の変更

ノード、サブネット、インタフェースなどオブジェクトの詳細を表示した際には、そのオブジェクトの属性値を変更することができます。たとえば、特定のインシデントにノートを追加して、問題解決のためにこれまでに行った手順を説明することができます。問題が解決するまで、回避策に関する情報を入力することができます。最後に、解決策を決定した後は、問題の解決方法を記述した情報を追加できます。

**注:** ゲストユーザーロールの場合は、属性を変更できません。

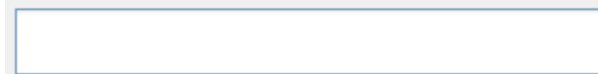
属性を修正できるフィールドには2種類あります。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

テキストボックス内の情報を修正するには、次の操作を行います。

1. カーソルを対象となる変更可能なフィールドに移動します。
2. 新しい値を入力します。たとえば、[ノート] 属性は変更可能なフィールドです。

注






**ヒント:** 属性が変更可能なフィールドのように見えても、テキストを入力できない場合、これは「注」フィールドです。


**ヒント:** 属性ラベルをクリックし、テキストを表示および編集できるダイアログボックスにアクセスします。この機能を使用すると、さらに多くのテキストを挿入する、または元の表示領域よりも長いテキストフィールドを表示できます。

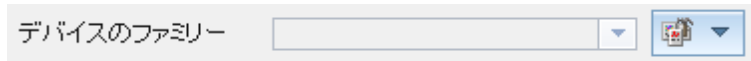
3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。



-  [保存] をクリックして変更を保存します。
-  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。

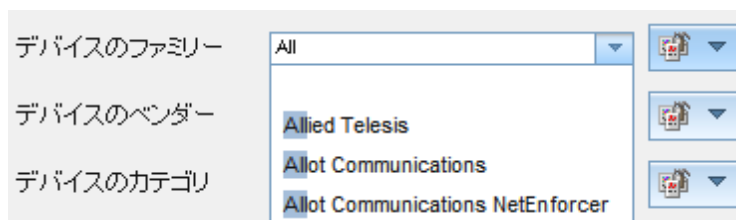
 ▾ [検索] フィールドの情報を修正するには、次の手順を実行します。



1. テキストボックスの右側にある、このアイコン  ▾ を探します。例:

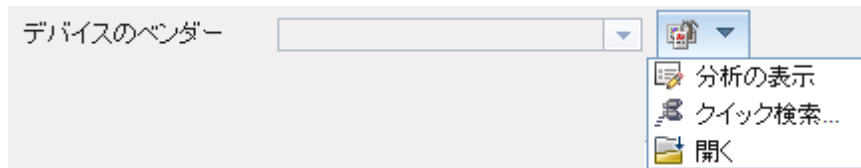


2. 以下のいずれかを行います。



- テキストボックスへの入力を開始します。NNMiには有効な選択肢のすべてがリストされます。リストの中から設定値を選択できます。



-  ▾ [検索] アイコンをクリックし、 [クイック検索] を選択して、有効な選択肢のリストを表示します。



3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。

-  [保存] をクリックして変更を保存します。
-  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。

## 第10章

### アクションを使用してタスクを実行

アクションを使用すると、選択したアイテムに対して操作を実行できます。使用できるアクションは、NNMiユーザーロールによって決まります。管理者はオペレーターよりも多くのアクションを選択できます。環境内にSPIをインストールしている場合は、アクションリストが増えている可能性があります。

考えられるアクションの説明については、「[NNMiアクション](#)」を参照してください。

**注:** オブジェクトの属性値を変更するアクション、またはノードへのログオンアクセスを必要とするアクション (telnetなど) も、このリストには含まれません。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューにアクセスできます。

説明したアクションのいずれかを実行するには、[アクション] メニューからアクションを選択します。[アクション] メニューは、NNMiコンソールのメインメニューバー、および新規のウィンドウの中に開かれた任意のフォームまたはビューのメニューバーからアクセスできます。アクションへのアクセス方法の詳細は、「[アクションを起動する](#)」(19ページ)を参照してください。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューにアクセスできます。

#### NNMiアクション

アクション	説明
レイヤー2の近隣接続ビュー	[マップ] > [レイヤー2の近隣接続ビュー] レイヤー2ネットワークのマップを表示します。レイヤー2マップは、スイッチの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
レイヤー3の近隣接続ビュー	[マップ] > [レイヤー3の近隣接続ビュー] レイヤー3ネットワークのマップを表示します。レイヤー3ネットワークマップは、ルーターの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
パスビュー	[マップ] → [パスビュー] 指定された2つのノード間のルートを示すマップを表示します。ソースノードとデスティネーションノードはスイッチ以外である必要があります。  <b>注:</b> NNMi Advanced。パスビューで使用できるのは、IPv4アドレスのみです。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アド

## NNMiアクション, 続けて

アクション	説明
	レスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。
MPLS WANクラウドマップ	(NNMi Advanced) MPLS WANクラウド全体のレイヤー3接続のマップが表示されます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

## インシデントに固有のNNMiアクション

アクション	説明
インタフェースのアクション	ソースオブジェクトがインタフェースのインシデントに対してのみ使用できます。 インタフェースで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。インタフェースで利用可能なアクションの詳細については、「 <a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a> 」を参照してください。
IPアドレスのアクション	ソースオブジェクトがIPアドレスのインシデントに対してのみ使用できます。 IPアドレスで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。IPアドレスで利用可能なアクションの詳細については、「 <a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a> 」を参照してください。
ノードのアクション	ノードで利用可能なアクションのすべてにアクセスできます。ノードで利用可能なアクションの詳細については、「 <a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a> 」を参照してください。 アクションは、インシデントのソースノードに適用されます。
ノードグループのメンバー	アイランドノードグループインシデントのみ。選択したインシデントのソースオブジェクトがアイランドノードグループのメンバーであるノード表を表示します。 アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。  注: インシデントのソースオブジェクトがislandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。
ノードグループマップ	[マップ] → [ノードグループマップ] ソースノードが属する先の最下位のノードグループのマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。 ソースノードが最下位で複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは表示するノードグループを選択するよう求められます。

## インシデントに固有のNNMiアクション, 続けて

アクション	説明
	<p>インシデントのソースオブジェクトがアイランドノードグループの場合、NNMiはアイランドノードグループマップを表示します。</p> <p>アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。</p> <p><b>注:</b> インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。</p> <p>選択したソースノードがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ] アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>
ソースノード	現在のインシデントのソースノードについてノードフォームを開きます。
ソースオブジェクト	現在のインシデントについてソースオブジェクトフォームを開きます。たとえば、ソースオブジェクトがレイヤー2の接続である場合、NNMiではレイヤー2接続フォームを開きます。
カスタムポーラー結果のグラフ化	選択したインシデントのソースノードに関連付けられているカスタムポーラー収集それぞれからのすべてのMIB式をグラフ化します。

## ノード、インターフェース、およびIPアドレスに固有のアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	<p>[マップ] → [ノードグループマップ]</p> <p>このアクションでは、ソースノード、またはノードで選択されているインターフェース/IPアドレスが属する先の、最下位のノードグループマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。</p> <p>ソースノード、あるいはノード上の選択したインターフェースまたはIPアドレスが、同じレベルにおける複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは、表示するノードグループを選択するよう求めます。</p> <p>選択したソースノード、インターフェース、またはIPアドレスがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ] アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>
グラフ	選択したノードまたはインターフェースに対して表示するように設定されたSNMPデータをリアルタイムでグラフに表示します。グラフ名には、グラフ内のデータタイプがわかるような名前を設定します。

## ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション, 続けて

アクション	説明
	NNMiには、一連の線グラフが用意されています。詳細は、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。NNMi管理者またはHP Network Node Manager i Software Smart Plugins (iSPIs)は、[アクション] メニューリストに表示される、追加の線グラフを設定する場合があります。

## ノードグループに用意されているアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	[マップ] → [ノードグループマップ] 選択したノードグループに属するすべてのノードの現在のマップを表示します。
メンバーのプレビュー	[ノードグループの詳細] > [メンバーのプレビュー (現在のグループのみ)] 選択したノードグループに属するすべてのノードのリストを表示します。
メンバーの表示	[ノードグループの詳細] > [メンバーの表示 (子グループを含む)] 選択したノードグループに加え、そのすべての子ノードグループに属しているすべてのノードのリストを表示します。
すべてのインシデントの表示	[ノードグループの詳細] → [すべてのインシデントの表示] 選択したノードグループに関連付けられているインシデントをチェックします。
すべての未解決インシデントの表示	[ノードグループの詳細] → [すべての未解決インシデントの表示] 選択したノードグループに関連付けられている未解決のインシデントをチェックします。
ステータスの詳細	[ノードグループの詳細] → [ステータスの詳細] 選択したノードグループのすべてのメンバーのステータスについてのレポートが表示されます。

## インタフェースグループに用意されているアクション

アクション	説明
メンバーの表示	[ノードグループの詳細] → [メンバーの表示] 選択したインタフェースグループに属するすべてのノードのリストを表示します。

## カスタムポーリングインスタンスに固有のアクション

アクション	説明
ポーリングインスタンスのグラフ化	選択したカスタムポーリングインスタンスのカスタムポーリング結果を線グラフで表示します。

## HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Softwareのアクション

(HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software) [アクション] メニューには、HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software レポートメニューを表示する追加の選択項目があります。レポートメニューの文脈は現在選択されているオブジェクト (ノード、ノードグループ、インターフェースまたはインターフェースグループ) によって変わります。2つ以上のオブジェクトを選択すると、複数のHP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software レポートが開きます (各オブジェクトにつき1つで、最大5つ)。

NNMiコンソールのどの場所でも、[アクション] メニューには以下のオプションが表示されます。

- **Reporting - レポートメニュー**

パスビューでは、[アクション] メニューに以下の追加のオプションが表示されます。

- **Reporting - パスヘルス**

アクションへのアクセス方法の詳細は、[「アクションを起動する」\(19ページ\)](#)を参照してください。

## 第11章

---

### NNMiに関する情報を表示する

2つのメニュー項目に、インストール済みのNNMiに関する現在の情報が豊富に含まれています。

- [ヘルプ] → [システム情報]  
詳細は、[「NNMiのシステム情報の表示」\(111ページ\)](#)を参照してください。
- [ヘルプ] → [HP Network Node Manager i Software]について  
詳細は、[「NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示」\(113ページ\)](#)を参照してください。

### NNMiのシステム情報の表示

[ヘルプ] → [システム情報] を選択します。

いくつかのタブに情報が用意されています。

- [製品] タブ: 次の製品情報を表示します。
  - 製品名
  - 現在使用中のロケール(言語)
  - NNMi稼働状態のステータス
  - ユーザー情報 (ユーザー名、**NNMiロール**<sup>1</sup>、およびユーザーグループ名など)。
  - NNMiライセンス情報へのリンク
- [ヘルス] タブ: NNMi稼働状態のサマリーレベルの情報 (NNMiの総合的なステータスと、以下の項目に関連する情報および問題を含む) を表示します。
  - メモリー
  - NNMiデータベース
  - システムリソース
  - ディスク使用率
  - SNMPの要求とキュー
  - グローバルネットワーク管理 (NNMi Advanced)

注: NNMi管理者は、[ヘルス] タブの [詳細ヘルスレポートの表示] ボタンをクリックして詳細を表示できます。

NNMiの総合的なヘルスステータスの詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

NNMiは、ヘルスのモニタリングでは以下のステータスを使用します。

---

<sup>1</sup>4つの特別なNNMiユーザーグループのうちのいずれかのメンバーシップによって決まります。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

## NNMiの総合的なヘルステータス

ステータス	説明
注意域	NNMiに重大な影響は与えていないパフォーマンス問題があることを示します。
警戒域	データを無効にする可能性がある問題があることを示します。たとえば、State Pollerのようなコンポーネントが予定の範囲外で動作して、同期なくなります。
重要警戒域	NNMi管理サーバーの運用に重大な影響は与えるけれども、危険域には至っていない問題があることを示します。重要警戒域ステータスは、通常、何らかのアクションが必要なことを意味します。たとえば、トラップのしきい値に到達した場合です。
危険域	NNMiが機能していないことを示します。たとえば、NNMiのメモリーが枯渇した場合、すべてのデータベース接続が失われた場合、あるいは主要なコンポーネントが故障した場合です。

- [サーバー] タブ: NNMi管理サーバーに関する情報を表示します。  
 ホスト名、IPアドレス、完全修飾ドメイン名 (FQDN)、オペレーティングシステム、メモリー使用率、ステータス情報、およびインストールディレクトリとデータディレクトリへのパス。  
 (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を使用している場合:
  - 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、**グローバル管理サーバー**です。
  - 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、**管理サーバー**です。
- [グローバルネットワーク管理] タブ: (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を有効にしている場合:
  - 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、**このグローバルマネージャーにレポートしているリージョナルマネージャー**です。
  - 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、**グローバルマネージャーにレポート中**です。
- [データベース] タブ: NNMiデータベースに格納されている各オブジェクトタイプの数を示すリストが表示されます。オブジェクトとしては、ノード、SNMPエージェント、インタフェース、アドレス、レイヤー2接続、インシデント、サブネット、VLAN、およびノードコンポーネントが含まれます。  
 (NNMi Advanced) ルーター冗長グループの数も表示されます。
- [StatePoller] タブ: StatePoller稼働状態統計情報:
  - State Pollerのステータス



- 要求され完了した収集
- 実行および収集時間
- キューの長さ
- モニタリングされているオブジェクトのタイプ
- 各オブジェクトタイプについて、モニタリングされているオブジェクトの数
- 現在のモニタリングレート
- ポーリング中のノード数
- [カスタムポーラー] タブ: カスタムポーラーの稼働状態統計情報:
  - カスタムポーラーのステータス
  - 要求され完了した収集
  - 実行および収集時間
  - キューの長さ
  - モニタリングされているオブジェクトのタイプ
  - 各オブジェクトタイプについて、モニタリングされているオブジェクトの数
  - 現在のモニタリングレート
  - ポーリング中のノード数
  - インスタンス検出の統計
- [拡張] タブ: 使用中のNNMi管理サーバーに導入されている追加ソフトウェアの名前、識別子、バージョン番号がリストされます。  
次の3つのカテゴリがあります。
  - a. NNMiライセンスに含まれるHP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)
  - b. 追加ライセンスが必要なHP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)  
(NNMiでは、NNM iSPIソフトウェアとデバイス拡張機能がインストールされたサーバーのホスト名が表示されます。)
  - c. NNMi機能を拡張するその他の拡張機能
- [コンポーネントバージョン] タブ: NNMiソフトウェアのすべてのコンポーネントとそのバージョン番号のリストが表示されます。

## NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示

[ヘルプ] → [HP Network Node Manager i Softwareについて] を選択すると、次の情報が表示されます。

- NNMiの現在のバージョン番号
- 現在のNetwork Node Manager i Softwareのライセンス情報へのリンク

---

## 用語集

### A

---

#### AES

Advanced Encryption Standard

#### Anycast Rendezvous Point IPアドレス

Rendezvous Pointアドレスは、マルチキャストネットワーク構成でルーターに使用されるループバックアドレスです。

### B

---

#### BGP

ボーダーゲートウェイプロトコル

### C

---

#### Causal Engine

NNMiのCausal Engineはネットワーク運用の健全性を分析し、継続的に各デバイスの運用ステータスを提供します。Causal Engineはさらに、問題を詳細に至るまで評価し、根本原因を可能な限り特定し、インシデントの送信を通じて問題をユーザーに通知します。Causal Engine管理イベントから生成されたインシデントの場合、インシデントビューには発生元としてNNMiが表示されます。

#### CBC

暗号ブロック連鎖

#### CE

Customer Edge (CE) ルーターです。ネットワークに設置されたルーターです。データの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター (Provider Edge) にデータを送信します。。

### D

---

#### DES

データ暗号化標準

### E

---

#### EIGRP

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol

#### EVPN

Ethernet仮想プライベートネットワークです。

### H

---

#### HMAC

ハッシュベースのメッセージ認証コード

#### hops

ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。

#### HSRP

Hot Standby Router Protocol

### I

---

#### ISIS

Intermediate System to Intermediate Systemプロトコル

---

**M**

---

**MACアドレス**

工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワーク機能を装備したデバイスに焼き付けられるMAC (Media Access Control) アドレス (ハードウェアまたは物理的アドレス)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンまたはダッシュで区切られています。

例 02:1F:33:16:BC:55

**MD5**

メッセージダイジェストアルゴリズム5

**MPLS**

マルチプロトコルラベルスイッチング

---

**N**

---

**NNMiユーザーグループ**

NNMiユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループです。ユーザーは、NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター (レベル2オペレーターよりアクセス権限が低い)、およびNNMiゲストユーザーのうち少なくとも1つのNNMiユーザーグループにユーザーアカウントがマップされるまでNNMiコンソールにアクセスできません。

**NNMiロール**

4つの特別なNNMiユーザーグループのうちのいずれかのメンバーシップによって決まります。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

---

**O**

---

**OSPF**

Open Shortest Path Firstプロトコル

---

**P**

---

**PE**

Provider Edgeルーターです。データを受信するデータの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター (Provider Edge) です。ネットワークのCustomer Edge (CE) ルーターがこのPEに接続します。

---

**R**

---

**RAMS**

HPルーター分析管理システム

---

**S**

---

**SHA**

セキュアハッシュアルゴリズム

---

**U**

---

**UUID**

UUID (Universally Unique Object Identifier)。すべてのデータベース内で一意です。

---

**V**

---

**VRRP**

Virtual Router Redundancy Protocol

---

**カ**

---

**カスタムノード 収集**

カスタムノード 収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。トポロジノードは複数のポリシーに関連付けることができるため、複数のカスタムノード 収集で同じトポロジノードが表示されることがあります。

## カスタムポーリングインスタンス

ノードに対して評価される場合、カスタムポーリングインスタンスはMIB式の結果を表します。検出情報を使用してMIB式を初めて検証すると、[モニタリング] ワークスペースの [カスタムポーリングインスタンス] ビューに結果が表示されます。状態が変化すると、その状態の変化を引き起こした最新のポーリング値が含まれてカスタムポーリングインスタンスが更新されます。これらの結果は、関連付けられているカスタムノード収集のステータスを決定するために使用されます。

## カスタムユーザーグループ

カスタムユーザーグループは、ユーザーが作成するユーザーグループのことです。これらのユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループの追加グループです。

## グ

### グローバルユニキャストアドレス

(2000:: ~ 3fff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) インターネットのあらゆる場所でのノード間の通信に使用する、パブリックにルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。アドレスの最初の部分は、インターネットサービスプロバイダーによって割り当てられたユーザーの組織の2000::/3アドレス空間のグローバルルーティングプレフィックスです。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接検出を使用して自動的に割り当てることができます。

## プ

### プライベートIPアドレス

自宅またはオフィスのローカルエリアネットワーク (LAN) で再利用できるIPv4アドレスです。RFC 1918およびRFC 4193 (10.\*.\*、169.254.\*.\*、172.16-31.\*.\*、および192.168.\*.\*) により設定された標準に準拠します。

## マ

### マルチキャストアドレス

グループに加わったホストグループの識別に使用します。IPv4マルチキャストアドレスは224.0.0.0 ~ 239.255.255.255の範囲で、IPv6マルチキャストアドレスのプレフィックスはff00::/8です。

## ユ

### ユニークローカルアドレス

(fd00:: ~ fdff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) ユーザーの組織内のノード間の通信のみ使用する、プライベートネットワーク内でのみルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。ユニークローカルアドレスは、パブリックなインターネットにはルーティングできません。このアドレスは、fd00:/8アドレス空間のルーティングプレフィックスによって構成され、ユーザーの組織によってローカルに割り当てられます。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接検出を使用して自動的に割り当てることができます。

## リ

### リンクローカルアドレス

同一リンク上の別のノードとの通信 (LAN またはVLAN) でのみ使用する、ルーティングできないIPv6ユニキャストアドレスです。リンクローカルアドレスは、ルーターを通じて転送する必要のある通信には使用できません。IPv6自動設定により、システムのIPv6が有効な各インタフェースに対し、fe80::/10アドレス空間のユニークリンクローカルアドレスが自動的に割り当てられます。

### リンク集約

複数のインタフェース (アグリゲーションメンバーインタフェース) が1つのインタフェース (アグリゲータインタフェース) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲータインタフェースで接続を確立する場合、この接続はア

グリゲータレイヤー2接続になります。アグリゲータレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲータインタフェース) には [インタフェース] アイコンが表示されます。太線をダブルクリックすると、参加しているアグリゲーションメンバーのレイヤー2接続を表す複数の細線に変換され、細線の各終端にはアグリゲーションメンバーインタフェースが表示されます。

---

## ル

### ルーティングプレフィックス

パケットのグループ全体に対してプレフィックスを宣言することで、各パケットに含まれる必須のルーティング情報を短縮またはフィルターするために使用されるネットワークプロトコルです。このプレフィックスには、アドレスのビット数も示されています。

### ループバックアドレス

ループバックインタフェースに関連付けられたアドレス。ループバックインタフェースは、内部通信の経路になるデバイスの仮想インタフェースです。多くのベンダーは、特に管理用に設定したループバックを用意しています。ループバックインタフェースの設定は、ベンダーとモデルごとにさまざまです。詳細は、各デバイスのドキュメントを参照してください。NNMiでは、ifType 24番、IANA ifType-MIBのsoftwareloopbackを使用してループバックアドレスを特定します。

---

## レ

### レイヤー2

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のデータリンク層を指します。データリンク層は、ネットワーク内の物理リンク間でデータを転送します。スイッチとスイッチルーターは、レイヤー2レベルでデータメッセージをリダイレクトするデバイスです。この場合、メッセージの送信先を調べるには、あて先のMAC (Media Access Control) アドレスを使います。

### レイヤー3

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のネットワーク層を指します。ネットワーク層は、ネットワーク内の隣接ノードアドレスの認識、ルートとサービス品質の選択、ローカルホストドメインへの受信メッセージの認識と転送を処理します。ルーターとスイッチルーターは、データメッセージをレイヤー3レベルでリダイレクトするデバイスです。サブネットの接続はすべてレイヤー3 (IP) レベルで行われます。

---

## 管

### 管理対象外

管理モードが「非管理対象」または「サービス停止中」であることを意味します。

---

## 重

### 重要なインシデント

次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 関連処理特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

---

## 複

### 複数接続

複数接続は、マップビューにある2つの [ノード] アイコン、2つの [ノードグループ] アイコン、または [ノード] アイコンと [ノードグループ] アイコン間の太線です (太線のいずれかの終端に [インタフェース] アイコンまたは [IPアドレス] アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します ([ユーザーインタフェースの設定] の [複数接続しきい値] 属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インタフェース] アイコンまたは [IPアドレス] アイコ

ンが線のいずれかの終端に表示されます。

